

園芸植物等の栽培に関する実態調査及び食中毒に関する意識調査

報 告 書

令和5年3月

 東京都福祉保健局

目 次

第1章	調査概要	1
1	調査目的	1
2	調査対象者	1
3	調査方法	1
4	調査期間	1
5	集計結果の注意点	1
第2章	調査結果	3
1	回答者の属性	3
(1)	性別	3
(2)	年代	3
2	園芸植物等の栽培に関する実態調査及び食中毒に関する意識調査	4
(1)	植物を育てた人	4
(2)	植物の栽培歴	5
(3)	植物の入手先	6
(4)	植物を植えた場所	8
(5)	栽培状況	10
(6)	植物を植えた場所の区画等	12
(7)	植物の区分け	14
(8)	確認方法	16
(9)	食中毒の知識	18
(10)	食中毒を起こす植物	20
(11)	知っている園芸用の有毒植物	22
(12)	栽培した植物の活用	24
(13)	食用としての確認	27
(14)	山野草の喫食経験の有無	29
(15)	山野草の喫食状況	31
(16)	植物の採取・調理	33
(17)	有毒植物による食中毒の認知度	35
(18)	食中毒死亡事件の認知度	37
(19)	食中毒死亡事件を知った理由	39
(20)	有毒植物に関する知識	41

(21) 普段利用しているメディア・サービス	43
(22) 普段利用している具体的な SNS サービス	45
(23) 情報発信に効果的なメディア・サービス	47
(24) 情報発信に効果的な具体的な SNS サービス	49
(25) 信頼できるメディア・サービス	51
(26) 信頼できる具体的な SNS サービス	53
(27) 食品の安全性に関する情報	55
(28) 食品の安全性に関する具体的な SNS サービス	57
(29) 東京都からの食品の安全性に関する情報	59
(30) 植物を育てるにあたって参考になっている情報源	61
(31) 採取にあたって参考になっている情報源	63
第3章 まとめ	65
1 食用の植物の栽培歴	65
2 食用の植物の栽培から喫食までの実態	65
3 園芸植物等に関連する食中毒の知識	65
4 山野草の喫食実態等	66
5 食品の安全性に関する情報源	66
<資料：調査票>	67

第1章 調査概要

1 調査目的

有毒植物の誤食による食中毒は、山野において食べられる植物と誤認して採取した有毒植物によるものばかりではなく、近年は、自宅の庭や畑に生えていた園芸植物の誤食による食中毒も多く発生している。また、コロナ禍の中で、密を避けたレジャーの一つとして、家庭菜園や市民農園等で野菜を育てたいというニーズが高まっている。

そこで、園芸植物等の誤食による食中毒予防等についての確な情報発信を行っていくため、自宅や家庭菜園等で育てた植物の喫食等に関する意識や行動と、関連する食品衛生上のリスクを把握するための実態調査を行った。

2 調査対象者

過去10年間に本人又は同居家族が自宅や家庭菜園等で植物を育てて食べた経験のある20歳以上の都民

3 調査方法

アンケートモニターに対するインターネットアンケート

4 調査期間

令和5年1月10日（火曜日）から令和5年1月13日（金曜日）まで

5 集計結果の注意点

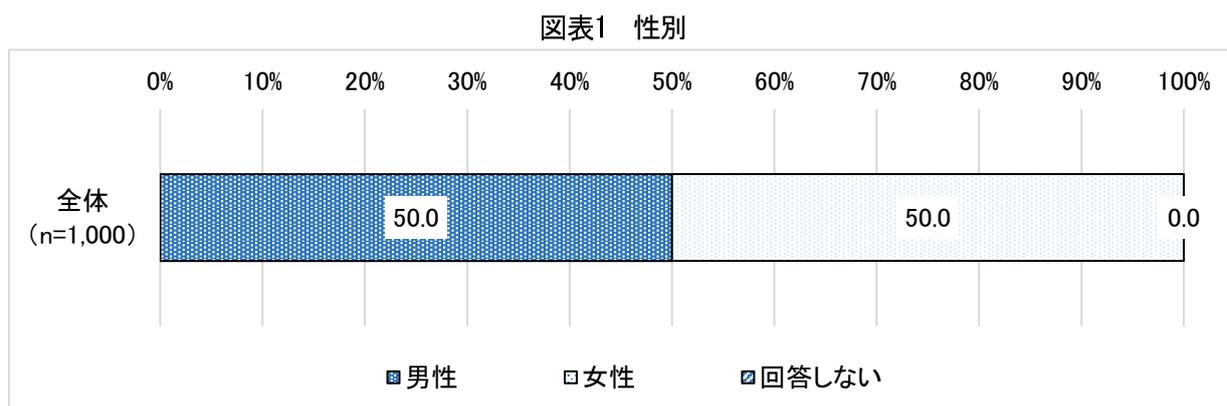
- ・比率を出す際には小数点第2位以下の数値を四捨五入している。そのため、回答比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・「複数回答」の記載がある図表は、一人が複数の選択肢を選択することが可能な設問のため、回答比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・数表において、全体よりも10ポイント以上割合が高いセルを赤色（■）、10ポイント以上割合が低いセルを青色（■）に着色している。
- ・各設問の選択番号は67ページ以降の調査票を参照。

第2章 調査結果

1 回答者の属性

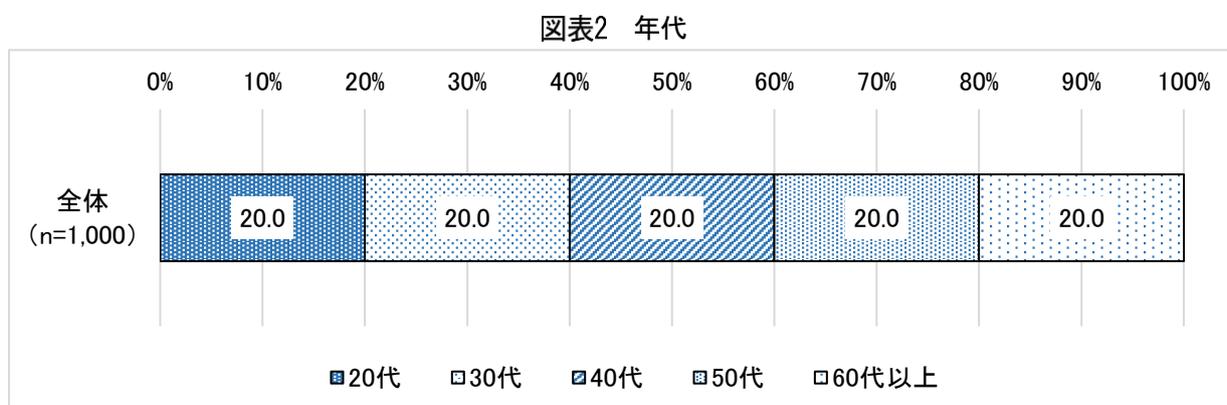
(1) 性別

「男性」が 50.0%、「女性」が 50.0%の半数ずつとした。なお、「回答しない」はいなかった。



(2) 年代

各年代の男女 100 人ずつ集めて、合計 1,000 人とした。



2 園芸植物等の栽培に関する実態調査及び食中毒に関する意識調査

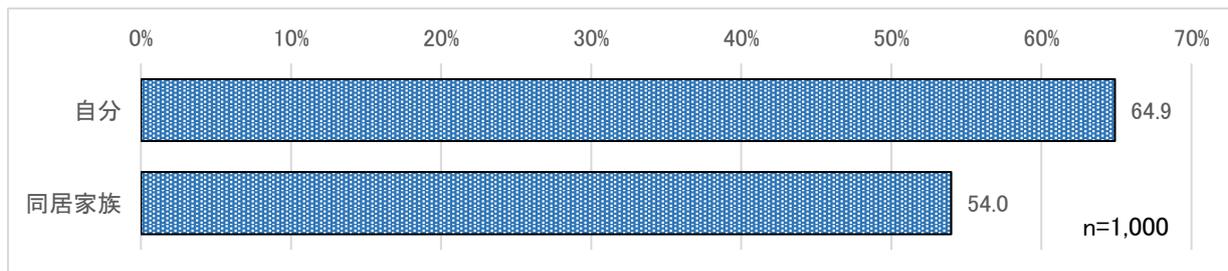
(1) 植物を育てた人

自分又は同居家族が育てて食べた植物についてお答えください。

Q1 家庭菜園や市民農園等で植物を育てている（育てた）方はどなたですか。複数選択可

植物を育てている（育てた）のは、「自分」が64.9%、「同居家族」が54.0%であった。

図表3 植物を育てた人（複数回答）



【性別・年代別】

性年代別にみると、「自分」が育てている（育てた）は、「女性20代」が53.0%と、全体（64.9%）を大きく下回った。「同居家族」が育てている（育てた）と回答したのは、「女性20代」が66.0%と、全体（54.0%）を大きく上回った。

図表4 【性別・年代別】 植物を育てた人（複数回答） (%)

		n	自分	同居家族
全体		1,000	64.9	54.0
性別	男性	500	66.0	54.0
	女性	500	63.8	54.0
年代別	20代	200	60.5	61.0
	30代	200	65.0	52.0
	40代	200	65.0	55.0
	50代	200	64.5	55.5
	60代以上	200	69.5	46.5
性年代別	男性20代	100	68.0	56.0
	男性30代	100	67.0	50.0
	男性40代	100	64.0	56.0
	男性50代	100	62.0	59.0
	男性60代以上	100	69.0	49.0
	女性20代	100	53.0	66.0
	女性30代	100	63.0	54.0
	女性40代	100	66.0	54.0
	女性50代	100	67.0	52.0
	女性60代以上	100	70.0	44.0

(2) 植物の栽培歴

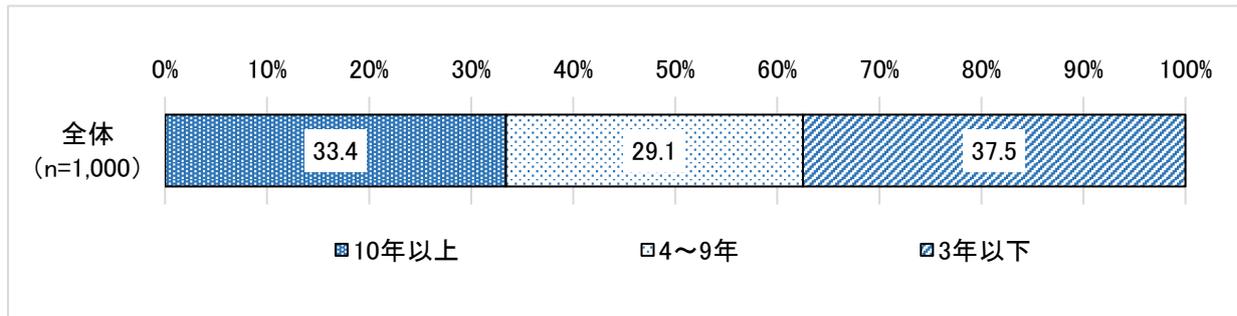
自分又は同居家族が育てて食べた植物についてお答えください。

Q2 あなたや同居家族の栽培歴はどのくらいですか。

※自分と同居家族が育てている場合、御自身についてお答えください。

植物の栽培歴は、「3年以下」が37.5%で最も高かった。

図表5 植物の栽培歴



(3) 植物の入手先

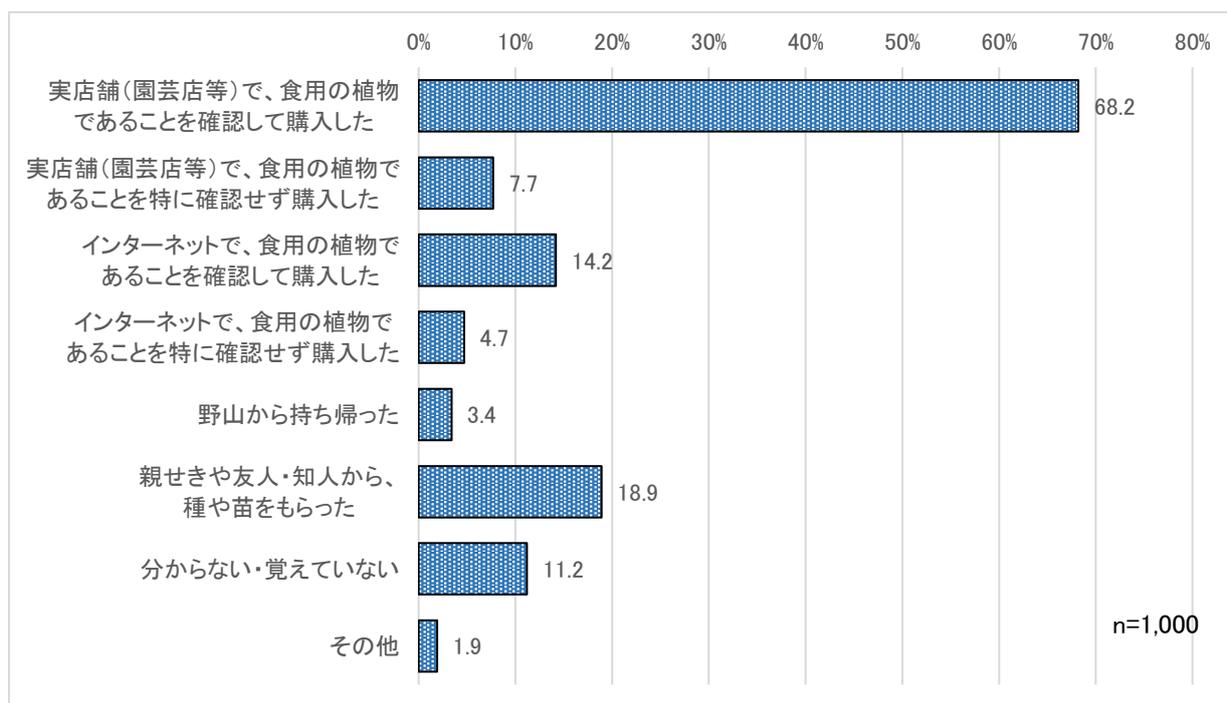
自分又は同居家族が育てて食べた植物についてお答えください。

Q3 その植物の入手先について、当てはまるものをお答えください。複数回答可

※自分と同居家族が育てている場合、御自身についてお答えください。

植物の入手先については、「実店舗（園芸店等）で、食用の植物であることを確認して購入した」が68.2%、「親せきや友人・知人から、種や苗をもらった」が18.9%、「インターネットで、食用の植物であることを確認して購入した」が14.2%であった。一方、「分からない・覚えていない」は11.2%であった。

図表6 植物の入手先（複数回答）



【栽培歴別】

栽培歴別については、図表7のとおり。

図表7 【栽培歴別】植物の入手先（複数回答）（%）

		n	確認して購入した 食用の植物であること を 実店舗（園芸店等）で、 購入した	特 に 食 用 の 植 物 で あ る こ と を 実店舗（園芸店等）で、 購入した	の 植 物 で あ る こ と を インターネットで、 購入した	確 認 せ ず 購 入 し た の 植 物 で あ る こ と を インターネットで、 購入した	野 山 か ら 持 ち 帰 っ た	ら、 親 せ き や 種 や 苗 を も ら 知 人 か 友人・知人か	分 か ら い な い ・ 覚 え て い な い	そ の 他
全体		1,000	68.2	7.7	14.2	4.7	3.4	18.9	11.2	1.9
栽培 歴 別	10年以上	334	76.6	11.4	15.0	6.0	5.4	22.8	7.8	1.5
	4～9年	291	67.4	8.9	22.0	7.9	4.5	17.5	6.9	2.7
	3年以下	375	61.3	3.5	7.5	1.1	0.8	16.5	17.6	1.6

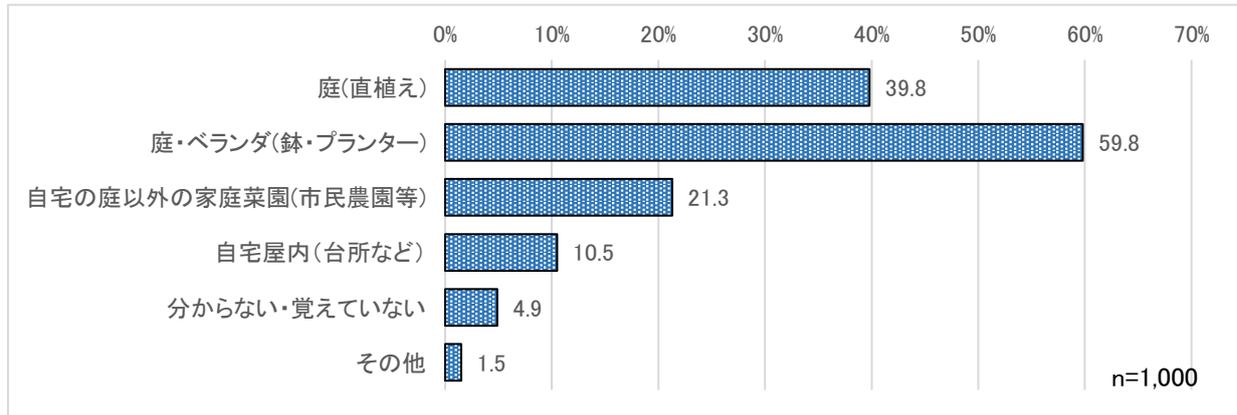
(4) 植物を植えた場所

自分又は同居家族が育てて食べた植物についてお答えください。

Q4 その植物を植えた場所はどこですか。複数回答可

植物を植えた場所は、「庭・ベランダ(鉢・プランター)」が59.8%、「庭(直植え)」が39.8%、「自宅の庭以外の家庭菜園(市民農園等)」が21.3%であった。

図表8 植物を植えた場所 (複数回答)



【栽培歴別】

栽培歴別にみると、栽培歴が長くなるにつれ、「庭（直植え）」が高くなった。

図表9 【栽培歴別】 植物を植えた場所（複数回答）（%）

		n	庭 （直 植 え）	庭・ 鉢・ プラン ター）	自 宅の 庭以 外の 家庭 菜園 等）	自 宅 屋 内 （ 台 所 な ど）	分 か ら な い ・ 覚 え て い な い	そ の 他
全体		1,000	39.8	59.8	21.3	10.5	4.9	1.5
栽培 歴 別	10年以上	334	55.1	56.6	24.3	11.4	1.8	2.1
	4～9年	291	37.8	63.6	28.9	13.7	2.4	1.0
	3年以下	375	27.7	59.7	12.8	7.2	9.6	1.3

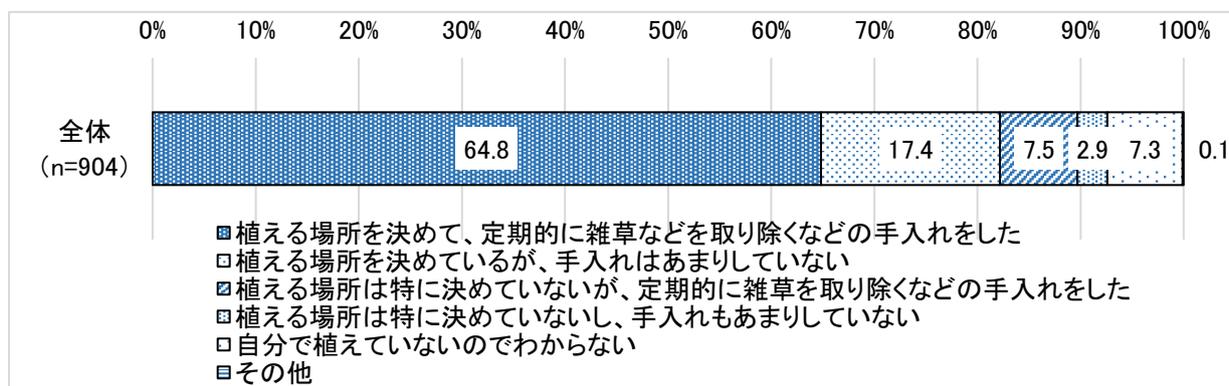
(5) 栽培状況

自分又は同居家族が育てて食べた植物についてお答えください。

Q5 (Q4 で1~3 と回答した人) 庭や家庭菜園などで植物を育てている (育てていた) 状況について、当てはまるものをお答えください

植物を育てている (育てていた) 状況は、「植える場所を決めて、定期的に雑草などを取り除くなどの手入れをした」が64.8%と最も多く、次いで「植える場所を決めているが、手入れはあまりしていない」が17.4%、「植える場所は特に決めていないが、定期的に雑草を取り除くなどの手入れをした」が7.5%であった。

図表10 栽培状況



(6) 植物を植えた場所の区画等

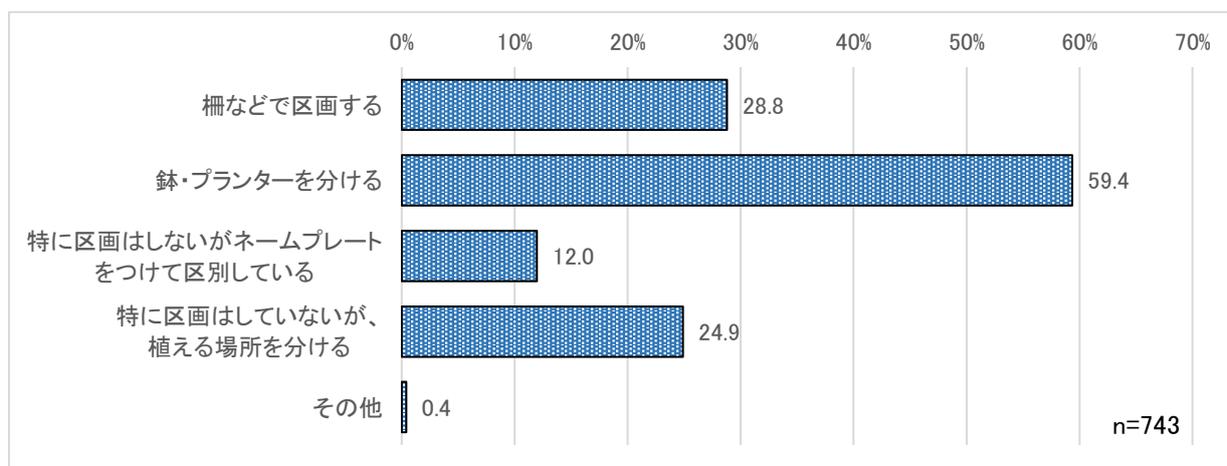
自分又は同居家族が育てて食べた植物についてお答えください。

Q6 (Q5 で1~2 と回答した人) その植物を植えた場所をどのように分けています (分けていました) か。複数回答可

※自分と同居家族が育てている場合、御自身についてお答えください。

植物を植えた場所をどのように分けているかについては、「鉢・プランターを分ける」が59.4%と最も多く、次いで「柵などで区画する」が28.8%、「特に区画はしていないが、植える場所を分ける」が24.9%であった。

図表12 植物を植えた場所の区画等 (複数回答)



【栽培歴別】

栽培歴別については、図表 13 のとおり。

図表13 【栽培歴別】 植物を植えた場所の区画等（複数回答）（%）

		n	柵 などで 区画 する	鉢・ プラ ンタ ーを 分け る	特 に 区 画 は し な い が ネ ー ム を つ け て 区 別 し て い る	特 に 区 画 は し て い な い が 、 場 所 を 分 け て い る	そ の 他
全体		743	28.8	59.4	12.0	24.9	0.4
栽 培 歴 別	10年以上	265	37.7	55.1	12.1	30.2	0.0
	4～9年	219	30.6	59.8	16.4	21.5	0.9
	3年以下	259	18.1	63.3	8.1	22.4	0.4

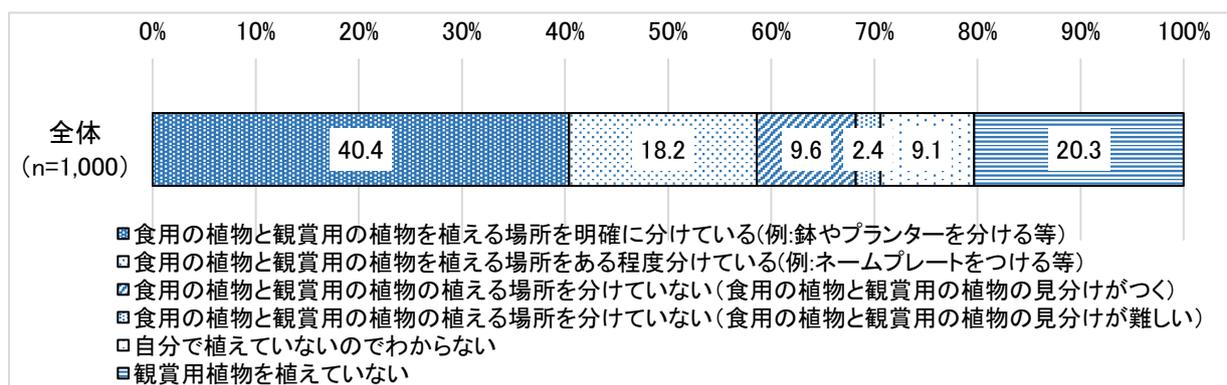
(7) 植物の区分け

Q7 育てている（育てた）植物について、食用の植物と観賞用の植物の区分けに関して、当てはまるものをお答えください。

※自分と同居家族が育てている場合、御自身についてお答えください。

食用の植物と観賞用の植物の区分けについては、『植える場所を明確に分けている』が40.4%、『植える場所をある程度分けている』が18.2%と、6割弱はある程度以上の区分けをしていると回答した。一方、『植える場所を分けていない』は12.0%（9.6%+2.4%）であった。

図表14 植物の区分け



【栽培歴別】

栽培歴別にみると、栽培歴が「3年以下」の人は、『明確に分けている』、『ある程度明確に分けている』が全体と比べて低く、「観賞用植物を植えていない」が全体と比べて高かった。

図表15 【栽培歴別】 植物の区分け (%)

		n	場所の植物を明確に分けている等 （例：鉢やる）	食用の植物と観賞用の植物を植える （例：）	観賞用の植物と観賞用の植物を植える （例：）	場所の植物と観賞用の植物を植える （例：）	食用の植物と観賞用の植物を植える （例：）	観賞用の植物と観賞用の植物を植える （例：）	自分で植えていないのでわからない	観賞用植物を植えていない
全体		1,000	40.4	18.2	9.6	2.4	9.1	20.3		
栽培歴別	10年以上	334	45.2	19.8	9.9	2.1	10.5	12.6		
	4～9年	291	40.5	22.3	10.7	1.0	5.2	20.3		
	3年以下	375	36.0	13.6	8.5	3.7	10.9	27.2		

(8) 確認方法

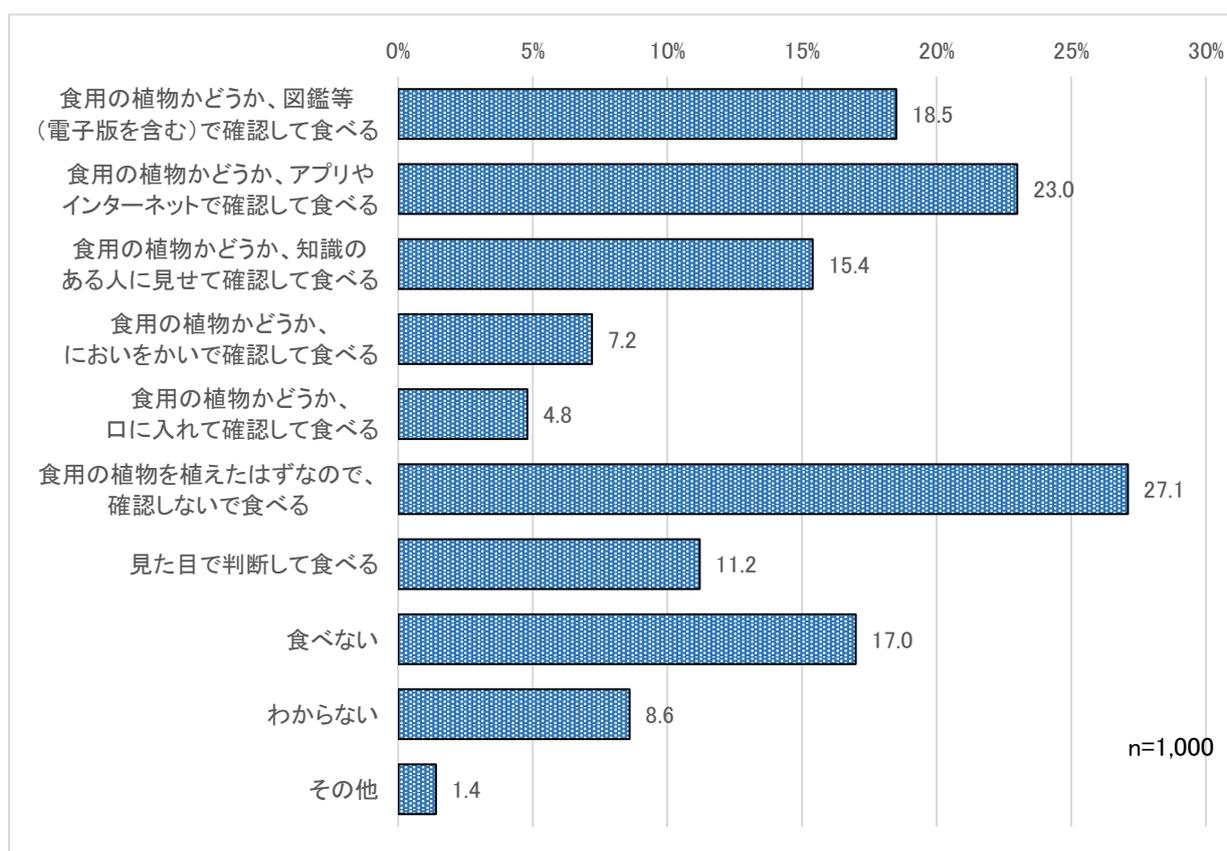
自分又は同居家族が育てて食べた植物についてお答えください。

Q8 家庭菜園や庭などで栽培した植物について、その植物が食用かどうか判断に自信がない場合の対応方法について当てはまるものをお答えください。複数回答可

※自分と同居家族が育てている場合、御自身についてお答えください。

食用かどうかの対応方法は、「食用の植物を植えたはずなので、確認しないで食べる」が27.1%、「食用の植物かどうか、アプリやインターネットで確認して食べる」が23.0%、「食用の植物かどうか、図鑑等（電子版を含む）で確認して食べる」が18.5%であった。一方、「食べない」も17.0%あった。

図表16 確認方法（複数回答）



【植物の区分け別】

植物の区分け別にみると、『食用の植物と観賞用の植物を植える場所を明確に分けている』の人は、食用かどうか迷った時に、『図鑑等で確認して食べる』『アプリやインターネットで確認して食べる』が高かった。また、『食用の植物と観賞用の植物を植える場所をある程度分けている』の人は、『アプリやインターネットで確認して食べる』『知識のある人に見せて確認して食べる』が高かった。一方、『食用の植物と観賞用の植物の植える場所を分けていない』の人は、食用かどうか迷った時に「食用の植物を植えたはずなので、確認しないで食べる」が高かった。

図表17 【植物の区分け別】 確認方法（複数回答）（%）

	n	食用の植物を含む）で確認して食べる	食用の植物かどうか、アプリやインターネットで確認して食べる	食用の植物かどうか、知識のある人に見せて確認して食べる	食用の植物かどうか、においをかいで確認して食べる	食用の植物かどうか、口に入れて確認して食べる	食用の植物を植えたはずなので、確認しないで食べる	見ただ目で判断して食べる	食べない	わからない	その他	
全体	1,000	18.5	23.0	15.4	7.2	4.8	27.1	11.2	17.0	8.6	1.4	
植物の区分け別	食用の植物と観賞用の植物を植える場所を明確に分けている（例：鉢やプランターを分ける等）	404	31.2	26.7	16.8	8.4	5.4	28.7	9.9	14.9	3.7	1.7
	食用の植物と観賞用の植物を植える場所をある程度分けている（例：ネームプレートをつける等）	182	17.0	37.9	27.5	10.4	7.1	21.4	9.9	6.6	1.1	0.5
	食用の植物と観賞用の植物の植える場所を分けていない（食用の植物と観賞用の植物の見分けがつく）	96	6.3	17.7	20.8	16.7	4.2	37.5	20.8	12.5	1.0	1.0
	食用の植物と観賞用の植物の植える場所を分けていない（食用の植物と観賞用の植物の見分けが難しい）	24	4.2	20.8	0.0	4.2	4.2	37.5	8.3	12.5	8.3	4.2
	自分で植えていないのでわからない	91	5.5	11.0	4.4	1.1	3.3	18.7	14.3	22.0	29.7	0.0
観賞用植物を植えていない	203	7.9	10.3	5.9	0.5	2.5	26.6	9.4	31.0	19.2	2.0	

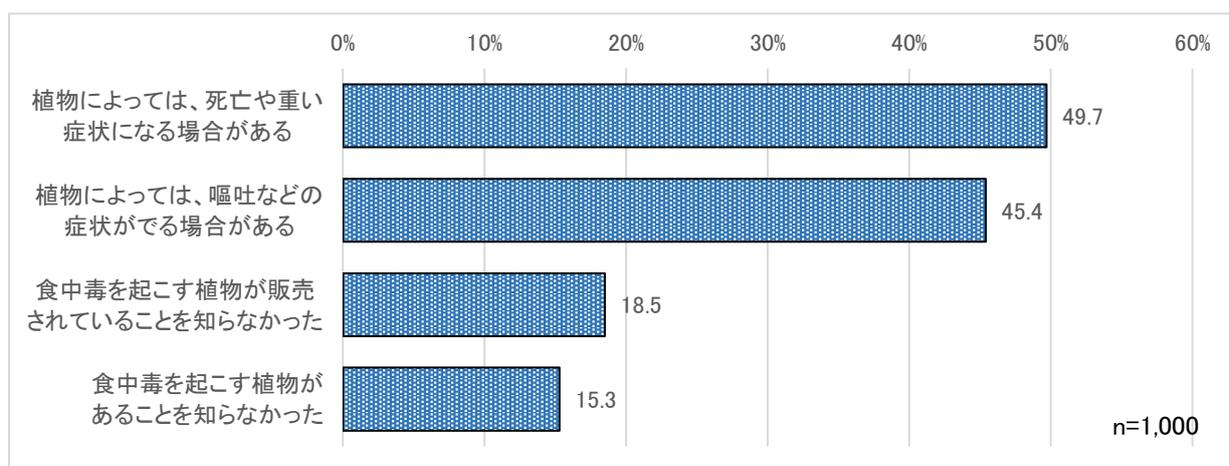
(9) 食中毒の知識

Q9 園芸店で観賞用として販売されている植物の中には、食べると食中毒を起こす植物があります。観賞用の植物による食中毒の症状についてあなたが知っていることをお答えください。

複数回答可

観賞用の植物による食中毒の知識については、「植物によっては、死亡や重い症状になる場合がある」が49.7%、「植物によっては、嘔吐などの症状がでる場合がある」が45.4%と、半数近くが、観賞用の植物でも食中毒を起こすことを知っていた。一方、「食中毒を起こす植物が販売されていることを知らなかった」は18.5%、「食中毒を起こす植物があることを知らなかった」は15.3%であった。

図表18 食中毒の知識（複数回答）



【性別・年代別】

性年代別にみると、「植物によっては、嘔吐などの症状がでる場合がある」では「男性 60 代以上」が 59.0%と、全体 (45.4%) を大きく上回った。「食中毒を起こす植物があることを知らなかった」では「女性 20 代」が 26.0%と、全体 (15.3%) を大きく上回った。

【栽培歴別】

栽培歴別にみると、栽培歴が長くなるにつれ「植物によっては、死亡や重い症状になる場合がある」が高くなった。一方、「3 年以下」では、「食中毒を起こす植物があることを知らなかった」が 22.7%と、全体 (15.3%) と比べて高かった。

図表19 【性別・年代別・栽培歴別】 食中毒の知識（複数回答）（%）

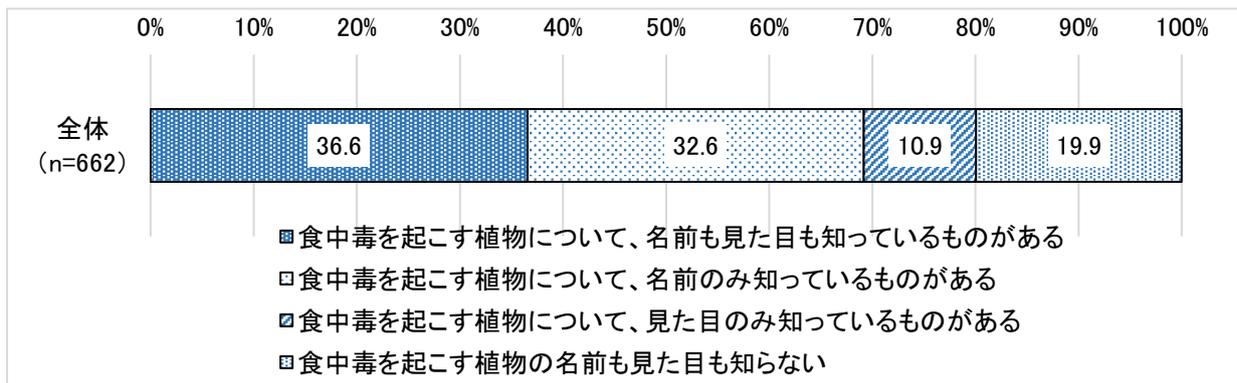
		n	な植物 の場合 は、 死亡 や重 い症 状に	で植 物に よつ ては、 嘔吐 など の症 状が	る食 中毒 を起 こす 植物 が販 売さ れて い	ら食 中毒 を起 こす 植物 があ るこ とを 知
全体		1,000	49.7	45.4	18.5	15.3
性別	男性	500	50.2	47.4	16.6	16.0
	女性	500	49.2	43.4	20.4	14.6
年代別	20代	200	49.5	44.0	16.0	18.0
	30代	200	44.5	47.0	13.5	18.0
	40代	200	51.0	41.5	20.5	16.0
	50代	200	51.0	45.0	20.0	13.5
	60代以上	200	52.5	49.5	22.5	11.0
性年代別	男性20代	100	54.0	48.0	15.0	10.0
	男性30代	100	43.0	40.0	13.0	22.0
	男性40代	100	49.0	45.0	16.0	21.0
	男性50代	100	51.0	45.0	19.0	18.0
	男性60代以上	100	54.0	59.0	20.0	9.0
	女性20代	100	45.0	40.0	17.0	26.0
	女性30代	100	46.0	54.0	14.0	14.0
	女性40代	100	53.0	38.0	25.0	11.0
	女性50代	100	51.0	45.0	21.0	9.0
女性60代以上	100	51.0	40.0	25.0	13.0	
栽培歴別	10年以上	334	56.3	50.0	15.3	11.7
	4～9年	291	51.5	51.9	18.2	10.0
	3年以下	375	42.4	36.3	21.6	22.7

(10) 食中毒を起こす植物

Q10 (Q9で1~2と回答した人) 食べると食中毒を起こす植物について、あなたが知っていることをお答えください。

食べると食中毒を起こす植物について知っていることは、『名前も見た目も知っているものがある』が36.6%であった。次いで、『名前のみ知っているものがある』が32.6%、『見た目のみ知っているものがある』が10.9%であった。一方、『名前も見た目も知らない』が19.9%であった。

図表20 食中毒を起こす植物



【性別・年代別】

性年代別にみると、『名前も見たいも知らない』では「女性40代」が34.4%、「女性50代」が34.3%と、全体（19.9%）を大きく上回った。また、「女性60代以上」では、『名前も見たいも知っているものがある』が46.8%と全体（36.6%）を大きく上回った。

【栽培歴別】

栽培歴別にみると、栽培歴が長くなるにつれ、『名前も見たいも知っているものがある』が高くなった。「3年以下」では、『名前も見たいも知らない』が29.2%と、全体（19.9%）と比べて高かった。

図表21 【性別・年代別・栽培歴別】 食中毒を起こす植物（%）

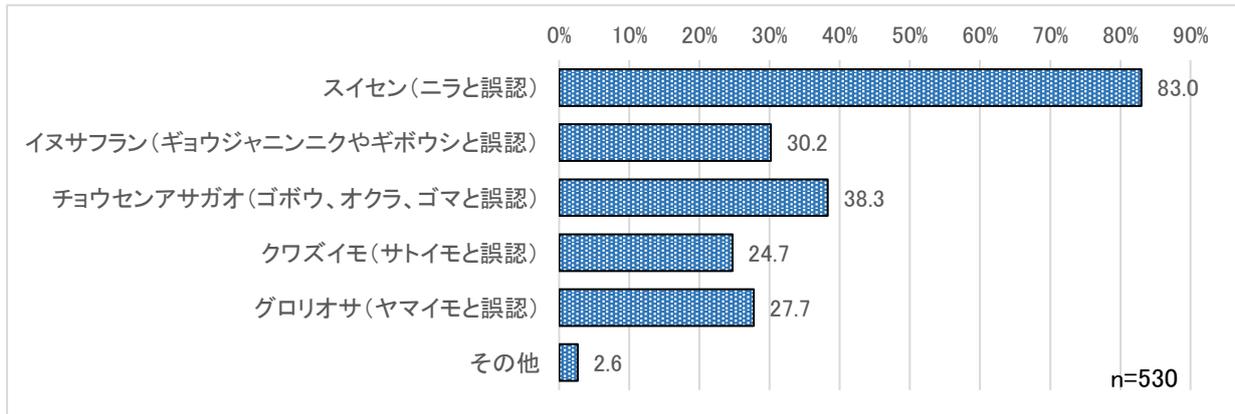
		n	も食見中毒目も知って植物のものがある名前	の食中毒起す植物について名前	目食のみ知って起す植物のものについて見た	も食知らない起す植物の名前も見たい
全体		662	36.6	32.6	10.9	19.9
性別	男性	337	38.9	33.2	12.8	15.1
	女性	325	34.2	32.0	8.9	24.9
年代別	20代	132	37.1	33.3	11.4	18.2
	30代	137	32.8	38.0	13.9	15.3
	40代	127	35.4	29.9	9.4	25.2
	50代	133	33.8	29.3	11.3	25.6
	60代以上	133	43.6	32.3	8.3	15.8
性年代別	男性20代	75	41.3	33.3	12.0	13.3
	男性30代	65	29.2	38.5	16.9	15.4
	男性40代	63	42.9	31.7	9.5	15.9
	男性50代	63	39.7	30.2	14.3	15.9
	男性60代以上	71	40.8	32.4	11.3	15.5
	女性20代	57	31.6	33.3	10.5	24.6
	女性30代	72	36.1	37.5	11.1	15.3
	女性40代	64	28.1	28.1	9.4	34.4
	女性50代	70	28.6	28.6	8.6	34.3
女性60代以上	62	46.8	32.3	4.8	16.1	
栽培歴別	10年以上	244	45.1	31.1	10.2	13.5
	4～9年	209	34.0	34.4	13.4	18.2
	3年以下	209	29.2	32.5	9.1	29.2

(11) 知っている園芸用の有毒植物

Q11 (Q10 で1~3 と回答した人) 食べると食中毒を起こす植物について、あなたが知っている植物をお答えください。複数回答可

食中毒を起こす植物について知っている植物を聞いたところ、「スイセン(ニラと誤認)」が83.0%であった。一方、「チョウセンアサガオ(ゴボウ、オクラ、ゴマと誤認)」は38.3%であった。それ以外の植物はさらに低かった。

図表22 知っている園芸用の有毒植物(複数回答)



【性別・年代別】

性年代別にみると、「スイセン（ニラと誤認）」では「女性40代」、「女性50代」及び「女性60代以上」がともに9割以上と、全体（83.0%）を上回った。一方で「男性30代」が60.0%と、全体を大きく下回った。

【栽培歴別】

栽培歴別にみると、「スイセン（ニラと誤認）」は栽培歴にかかわらず知っている割合が高かった。スイセン以外の有毒植物については、栽培歴にかかわらず知っている割合が低かった。

図表23 【性別・年代別・栽培歴別】 知っている園芸用の有毒植物（複数回答）（%）

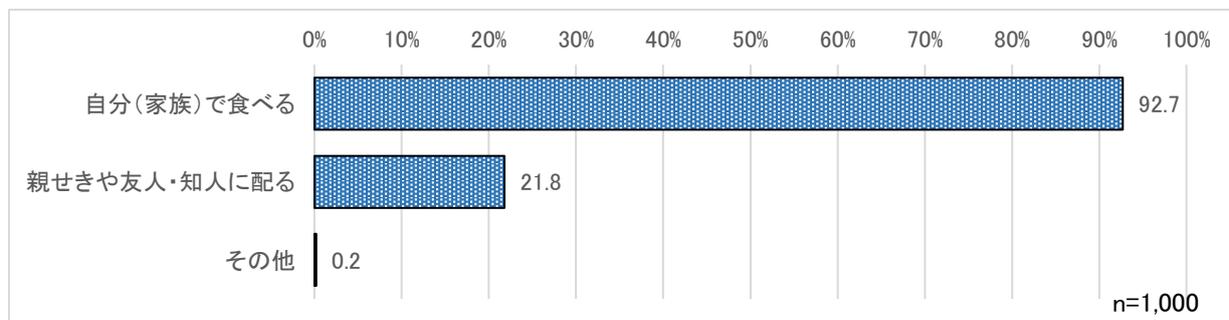
		n	スイセン (ニラと誤認)	ギボウシと誤認 (イヌサフラン ギョウジャニン ニクヤ)	チヨウセン (ゴボウ、オクラ、 ゴマと誤認)	クワズイモ (サトイモと誤認)	グロリオサ (ヤマイモと誤認)	その他
全体		530	83.0	30.2	38.3	24.7	27.7	2.6
性別	男性	286	80.8	32.2	36.4	25.9	28.7	2.4
	女性	244	85.7	27.9	40.6	23.4	26.6	2.9
年代別	20代	108	75.0	35.2	38.0	28.7	32.4	3.7
	30代	116	69.0	34.5	27.6	20.7	26.7	2.6
	40代	95	89.5	33.7	40.0	33.7	34.7	1.1
	50代	99	90.9	18.2	40.4	17.2	23.2	3.0
	60代以上	112	92.9	28.6	46.4	24.1	22.3	2.7
性年代別	男性20代	65	78.5	36.9	35.4	30.8	33.8	4.6
	男性30代	55	60.0	38.2	18.2	25.5	29.1	3.6
	男性40代	53	84.9	35.8	41.5	30.2	35.8	0.0
	男性50代	53	88.7	22.6	43.4	15.1	18.9	1.9
	男性60代以上	60	91.7	26.7	43.3	26.7	25.0	1.7
	女性20代	43	69.8	32.6	41.9	25.6	30.2	2.3
	女性30代	61	77.0	31.1	36.1	16.4	24.6	1.6
	女性40代	42	95.2	31.0	38.1	38.1	33.3	2.4
	女性50代	46	93.5	13.0	37.0	19.6	28.3	4.3
女性60代以上	52	94.2	30.8	50.0	21.2	19.2	3.8	
栽培歴別	10年以上	211	86.7	35.1	40.8	26.5	28.4	2.8
	4～9年	171	75.4	32.7	36.3	27.5	28.7	2.3
	3年以下	148	86.5	20.3	37.2	18.9	25.7	2.7

(12) 栽培した植物の活用

Q12 あなたは、食用として栽培した植物をどのように活用していますか。複数回答可

栽培した植物の活用は、「自分（家族）で食べる」が 92.7%、「親せきや友人・知人に配る」が 21.8%であった。

図表24 栽培した植物の活用（複数回答）



【性別・年代別】

性年代別にみると、男女とも「自分（家族）で食べる」は、年代が上がるにつれ高くなる傾向であった。なお、「女性60代以上」では100.0%であった。また、「親せきや友人・知人に配る」では「女性20代」が39.0%と、全体（21.8%）を大きく上回った。

図表25 【性別・年代別】 栽培した植物の活用（複数回答）（%）

		n	自分（家族）で食べる	親せきや友人・知人に配る	その他
全体		1,000	92.7	21.8	0.2
性別	男性	500	91.8	23.0	0.2
	女性	500	93.6	20.6	0.2
年代別	20代	200	87.0	30.5	0.0
	30代	200	89.0	22.0	0.0
	40代	200	94.5	20.0	0.5
	50代	200	94.5	16.5	0.0
	60代以上	200	98.5	20.0	0.5
性年代別	男性20代	100	90.0	22.0	0.0
	男性30代	100	87.0	24.0	0.0
	男性40代	100	92.0	24.0	0.0
	男性50代	100	93.0	18.0	0.0
	男性60代以上	100	97.0	27.0	1.0
	女性20代	100	84.0	39.0	0.0
	女性30代	100	91.0	20.0	0.0
	女性40代	100	97.0	16.0	1.0
	女性50代	100	96.0	15.0	0.0
	女性60代以上	100	100.0	13.0	0.0

【食中毒の知識別】

食中毒の知識別にみると、「食べると食中毒を起こす植物があることを知らなかった」では「親せきや友人・知人に配る」が29.4%と、全体（21.8%）に比べて高かった。

図表26 【食中毒の知識別】 栽培した植物の活用（複数回答）（%）

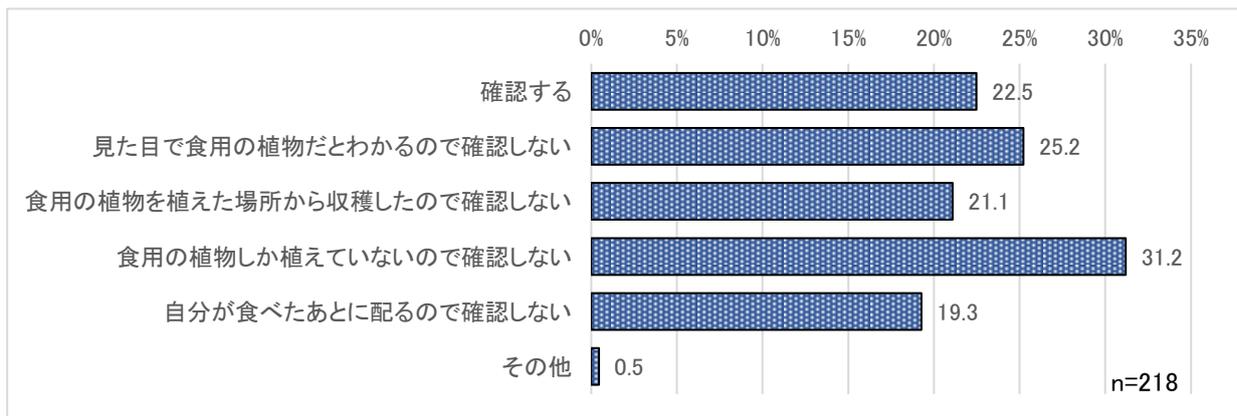
		n	自分（家族）で食べる	親せきや友人・知人に配る	その他
全体		1,000	92.7	21.8	0.2
食中毒の知識別	植物によっては、死亡や重い症状になる場合がある	497	97.4	19.3	0.4
	植物によっては、嘔吐などの症状がでる場合がある	454	94.5	21.6	0.4
	食べると食中毒を起こす植物が販売されていることを知らなかった	185	92.4	21.1	0.0
	食べると食中毒を起こす植物があることを知らなかった	153	83.0	29.4	0.0

(13) 食用としての確認

Q13 (Q12で2と回答した人) あなたは、食用として栽培した植物を配るときに、その植物が食べられるかどうか図鑑(電子版を含む)やインターネット等で確認しますか。複数回答可

食用として栽培した植物を配るときに、その植物が食べられるかどうか図鑑(電子版を含む)やインターネット等で確認するかについては、「食用の植物しか植えていないので確認しない」が31.2%、「見た目でも食用の植物だとわかるので確認しない」が25.2%であった。一方、「確認する」は22.5%であった。

図表27 食用としての確認(複数回答)



【性別・年代別】

性別・年代別については、図表 28 のとおり。

図表28 【性別・年代別】 食用としての確認（複数回答）（%）

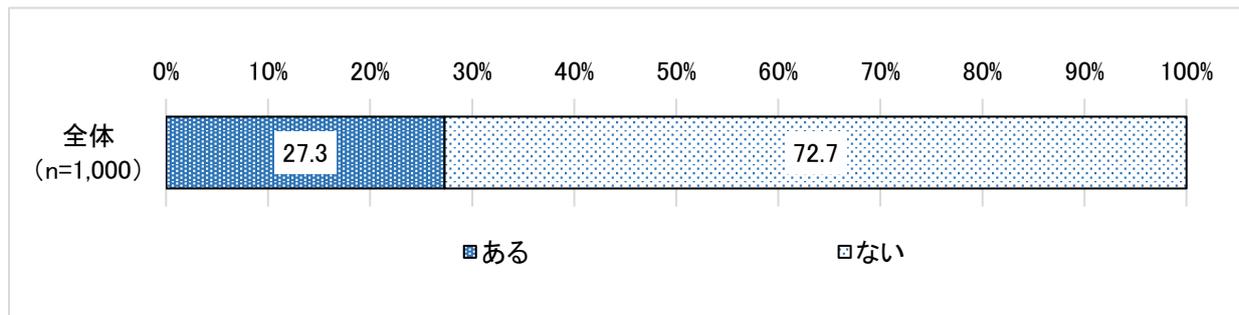
	n	確認する	見た目で食用の植物だと	わからない収穫した植物で確認し	食用の植物を植えた場所	食用の植物しか植えていない	自分で確認しないあとに配る	その他
全体	218	22.5	25.2	21.1	31.2	19.3	0.5	
性別								
男性	115	21.7	30.4	23.5	25.2	19.1	0.9	
女性	103	23.3	19.4	18.4	37.9	19.4	0.0	
年代別								
20代	61	34.4	16.4	16.4	18.0	21.3	1.6	
30代	44	22.7	29.5	31.8	22.7	13.6	0.0	
40代	40	27.5	22.5	15.0	35.0	15.0	0.0	
50代	33	9.1	33.3	15.2	30.3	24.2	0.0	
60代以上	40	10.0	30.0	27.5	57.5	22.5	0.0	
性別年代別								
男性20代	22	36.4	22.7	9.1	13.6	13.6	4.5	
男性30代	24	16.7	33.3	45.8	12.5	12.5	0.0	
男性40代	24	29.2	25.0	20.8	25.0	16.7	0.0	
男性50代	18	16.7	38.9	5.6	16.7	27.8	0.0	
男性60代以上	27	11.1	33.3	29.6	51.9	25.9	0.0	
女性20代	39	33.3	12.8	20.5	20.5	25.6	0.0	
女性30代	20	30.0	25.0	15.0	35.0	15.0	0.0	
女性40代	16	25.0	18.8	6.3	50.0	12.5	0.0	
女性50代	15	0.0	26.7	26.7	46.7	20.0	0.0	
女性60代以上	13	7.7	23.1	23.1	69.2	15.4	0.0	

(14) 山野草の喫食経験の有無

Q14 あなたは、過去 10 年間に、野山や林などの野外で採取した（された）植物を食べたことがありますか（キノコ・タケノコを除く）。

野山や林などの野外で採取した（された）植物を食べたことがあるかについては、「ある」が 27.3%、「ない」が 72.7%であった。

図表29 山野草の喫食経験の有無



【性別・年代別】

性別・年代別については、図表 30 のとおり。

図表30 【性別・年代別】 山野草の喫食経験の有無（％）

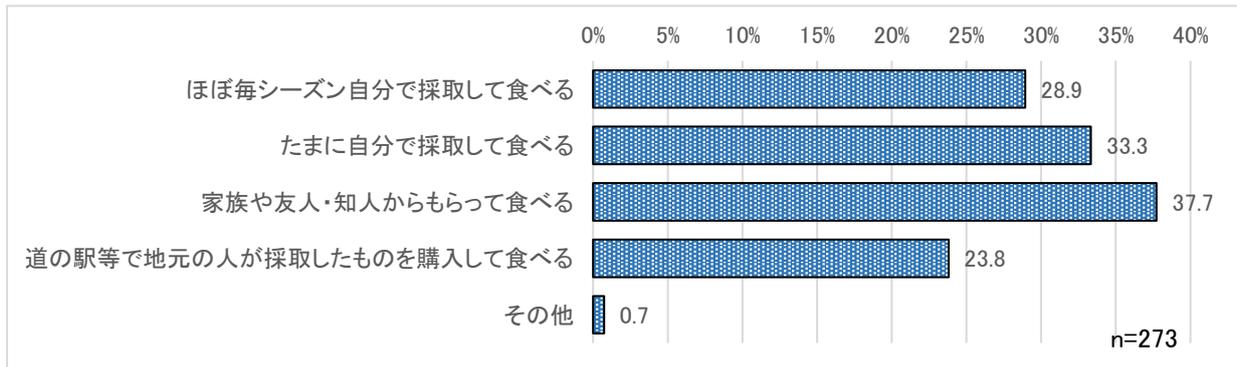
		n	ある	ない
全体		1,000	27.3	72.7
性別	男性	500	34.0	66.0
	女性	500	20.6	79.4
年代別	20代	200	40.5	59.5
	30代	200	34.5	65.5
	40代	200	21.0	79.0
	50代	200	17.0	83.0
	60代以上	200	23.5	76.5
性年代別	男性20代	100	52.0	48.0
	男性30代	100	41.0	59.0
	男性40代	100	29.0	71.0
	男性50代	100	21.0	79.0
	男性60代以上	100	27.0	73.0
	女性20代	100	29.0	71.0
	女性30代	100	28.0	72.0
	女性40代	100	13.0	87.0
	女性50代	100	13.0	87.0
	女性60代以上	100	20.0	80.0

(15) 山野草の喫食状況

Q15 (Q14 で1 と回答した人) 野山などに自然に生えている植物を食べた経験についてお答えください (キノコ・タケノコを除く)。複数回答可

野山などに自然に生えている植物を食べた経験については、「家族や友人・知人からもらって食べる」が37.7%、「たまに自分で採取して食べる」が33.3%、「ほぼ毎シーズン自分で採取して食べる」が28.9%であった。

図表31 山野草の喫食状況 (複数回答)



【性別・年代別】

性別・年代別については、図表 32 のとおり。

【栽培歴別】

栽培歴別にみると、「3年以下」は『道の駅等で購入』が高く、栽培歴が長くなるにつれ「ほぼ毎シーズン自分で採取して食べる」が高くなった。

図表32 【性別・年代別・栽培歴別】 山野草の喫食状況（複数回答）（%）

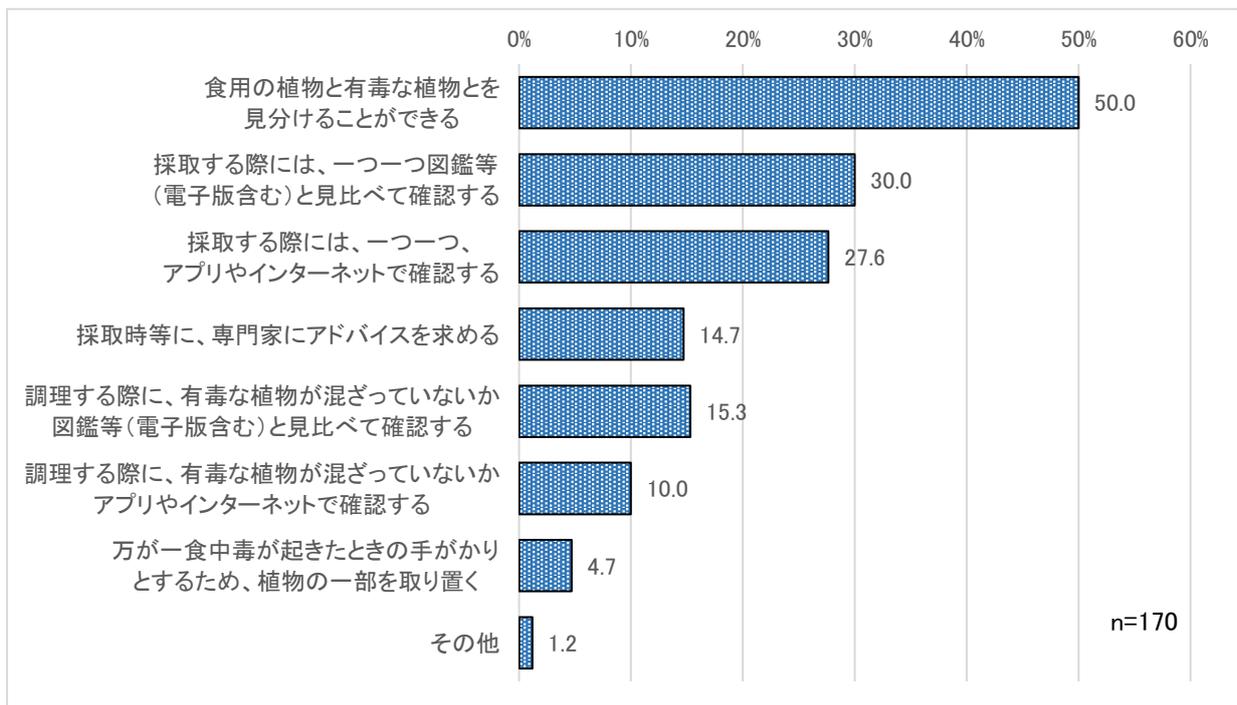
		n	てほぼ 食べる 毎シ ーズン 自分 で採 取し	たま に自 分 で採 取し て食 べる	て家 族 や友 人・ 知人 から もら つ	たの もの 駅等 で地 元の 人が 採取 し	そ の 他
全体		273	28.9	33.3	37.7	23.8	0.7
性別	男性	170	28.2	34.7	34.7	22.9	0.6
	女性	103	30.1	31.1	42.7	25.2	1.0
年代別	20代	81	35.8	32.1	39.5	9.9	0.0
	30代	69	33.3	34.8	34.8	20.3	2.9
	40代	42	21.4	35.7	38.1	35.7	0.0
	50代	34	14.7	29.4	38.2	38.2	0.0
	60代以上	47	27.7	34.0	38.3	31.9	0.0
性年代別	男性20代	52	28.8	40.4	36.5	9.6	0.0
	男性30代	41	31.7	34.1	34.1	19.5	2.4
	男性40代	29	24.1	31.0	34.5	37.9	0.0
	男性50代	21	19.0	28.6	33.3	33.3	0.0
	男性60代以上	27	33.3	33.3	33.3	29.6	0.0
	女性20代	29	48.3	17.2	44.8	10.3	0.0
	女性30代	28	35.7	35.7	35.7	21.4	3.6
	女性40代	13	15.4	46.2	46.2	30.8	0.0
栽培歴別	10年以上	104	37.5	31.7	38.5	20.2	0.0
	4～9年	100	32.0	42.0	34.0	16.0	0.0
	3年以下	69	11.6	23.2	42.0	40.6	2.9

(16) 植物の採取・調理

Q16 (Q15で1~2と回答した人) 野山などに自然に生えている植物の採取又は調理について、あなたに当てはまるものをお答えください(キノコ・タケノコを除く)。複数回答可

野山などに自然に生えている植物の採取又は調理については、「食用の植物と有毒な植物とを見分けることができる」が50.0%、「採取する際には、一つ一つ図鑑等(電子版含む)と見比べて確認する」が30.0%、「採取する際には、一つ一つ、アプリやインターネットで確認する」が27.6%であった。

図表33 植物の採取・調理(複数回答)

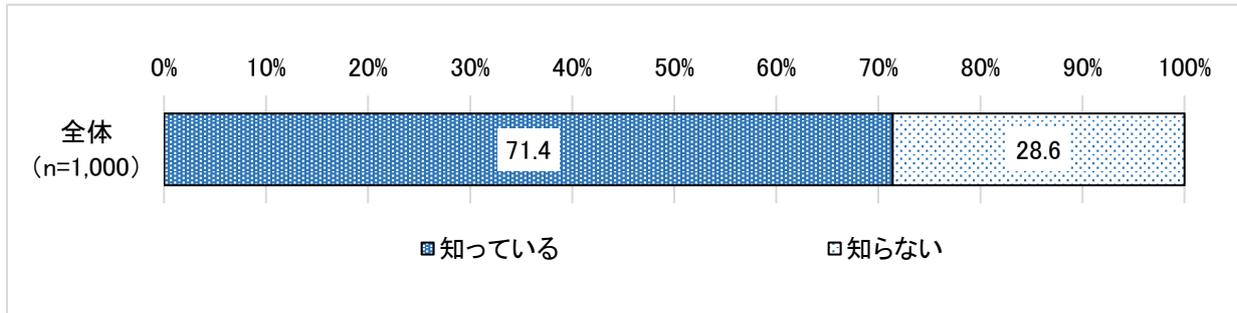


(17) 有毒植物による食中毒の認知度

Q17 あなたは、有毒植物による食中毒が毎年全国各地で発生していることを知っていますか。

有毒植物による食中毒が毎年全国各地で発生していることは、「知っている」が71.4%、「知らない」が28.6%であった。

図表35 有毒植物による食中毒の認知度



【性別・年代別】

年代別にみると、女性は年代が上がるにつれて「知っている」が高くなった。

性年代別にみると、「知っている」では「女性60代以上」が87.0%と、全体（71.4%）を大きく上回った。

【栽培歴別】

栽培歴別にみると、栽培歴が長くなるにつれ「知っている」が高くなった。

図表36 【性別・年代別・栽培歴別】 有毒植物による食中毒の認知度（%）

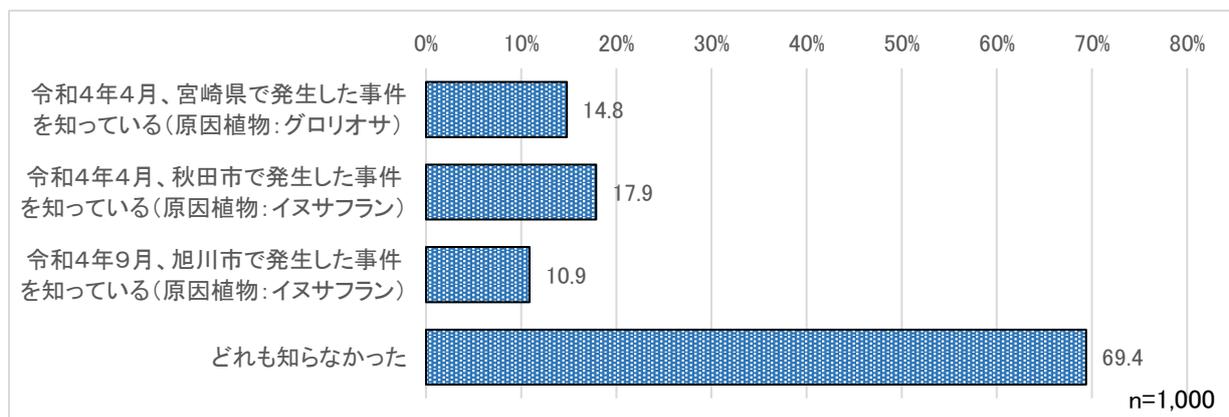
		n	知 っ て い る	知 ら な い
全体		1,000	71.4	28.6
性別	男性	500	70.8	29.2
	女性	500	72.0	28.0
年代別	20代	200	63.5	36.5
	30代	200	66.5	33.5
	40代	200	72.0	28.0
	50代	200	76.5	23.5
	60代以上	200	78.5	21.5
性年代別	男性20代	100	73.0	27.0
	男性30代	100	65.0	35.0
	男性40代	100	74.0	26.0
	男性50代	100	72.0	28.0
	男性60代以上	100	70.0	30.0
	女性20代	100	54.0	46.0
	女性30代	100	68.0	32.0
	女性40代	100	70.0	30.0
	女性50代	100	81.0	19.0
	女性60代以上	100	87.0	13.0
栽培歴別	10年以上	334	80.5	19.5
	4～9年	291	75.9	24.1
	3年以下	375	59.7	40.3

(18) 食中毒死亡事件の認知度

Q18 令和4年、有毒植物による食中毒で死者が出た事件がありました。あなたはこれらの食中毒死亡事件について知っていましたか。複数回答可

いずれの事件の認知度も2割以下と低かった。「どれも知らなかった」が約7割と高かった。

図表37 食中毒死亡事件の認知度（複数回答）



【性別・年代別】

性別・年代別については、図表38のとおり。

【栽培歴別】

栽培歴別にみると、「どれも知らなかった」では、「3年以下」が81.9%と、全体（69.4%）を大きく上回った。

図表38 【性別・年代別・栽培歴別】 食中毒死亡事件の認知度（複数回答）（%）

		n	サを令 知和 つ4 て年 い4 る月 （原宮 因崎 植県 物で ：発 グ生 ロし リた オ事 件	シを令 知和 つ4 て年 い4 る月 （原秋 因田 植市 物で ：発 イ生 ヌし サた フ事 件	ンを令 知和 つ4 て年 い9 る月 （原旭 因川 植市 物で ：発 イ生 ヌし サた フ事 件	ど れ も 知 ら な か つ た
全体		1,000	14.8	17.9	10.9	69.4
性別	男性	500	16.4	19.6	11.2	65.0
	女性	500	13.2	16.2	10.6	73.8
年代別	20代	200	20.0	23.5	12.5	57.5
	30代	200	21.0	21.0	10.0	61.5
	40代	200	13.0	16.0	9.5	73.0
	50代	200	9.5	14.0	11.0	77.0
	60代以上	200	10.5	15.0	11.5	78.0
性年代別	男性20代	100	20.0	26.0	14.0	52.0
	男性30代	100	24.0	23.0	10.0	58.0
	男性40代	100	18.0	24.0	11.0	61.0
	男性50代	100	10.0	17.0	11.0	73.0
	男性60代以上	100	10.0	8.0	10.0	81.0
	女性20代	100	20.0	21.0	11.0	63.0
	女性30代	100	18.0	19.0	10.0	65.0
	女性40代	100	8.0	8.0	8.0	85.0
女性50代	100	9.0	11.0	11.0	81.0	
女性60代以上	100	11.0	22.0	13.0	75.0	
栽培歴別	10年以上	334	20.1	20.4	12.9	63.8
	4～9年	291	17.5	26.1	13.7	59.8
	3年以下	375	8.0	9.3	6.9	81.9

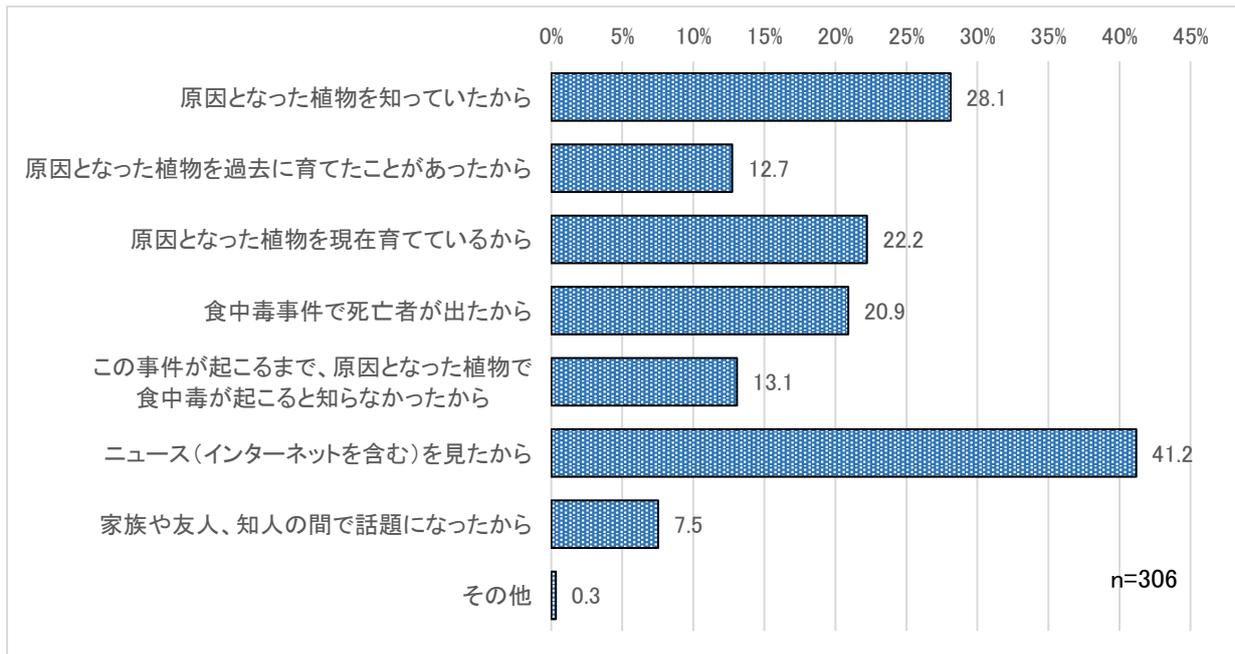
(19) 食中毒死亡事件を知った理由

Q19 (Q18 で 1~3 と回答した人) あなたがその食中毒事件を知っていた理由をお答えください。

複数回答可

食中毒事件を知っていた理由は、「ニュース(インターネットを含む)を見たから」が41.2%、「原因となった植物を知っていたから」が28.1%、「原因となった植物を現在育てているから」が22.2%であった。また、「食中毒事件で死亡者が出たから」が20.9%であった。

図表39 食中毒死亡事件を知った理由(複数回答)



【性別・年代別】

性別・年代別については、図表40のとおり。

図表40 【性別・年代別】 食中毒事件を知った理由（複数回答）（%）

		n	原因となつた植物を知っていたから	原因となつた植物を過去に育てたことがあつたから	原因となつた植物を現在育てているから	食中毒事件で死亡者が出たから	知らなかつたから	この事件が起こるまで、原因となつた植物で食中毒が起こると	ニュース（インタビュー）を見たから	家族や友人、知人の間で話題になつたから	その他
全体		306	28.1	12.7	22.2	20.9	13.1	41.2	7.5	0.3	
性別	男性	175	26.9	13.7	25.1	19.4	12.0	38.9	6.9	0.0	
	女性	131	29.8	11.5	18.3	22.9	14.5	44.3	8.4	0.8	
年代別	20代	85	30.6	15.3	34.1	15.3	16.5	25.9	5.9	1.2	
	30代	77	19.5	18.2	31.2	22.1	19.5	31.2	6.5	0.0	
	40代	54	31.5	11.1	14.8	16.7	9.3	48.1	9.3	0.0	
	50代	46	30.4	6.5	10.9	21.7	8.7	47.8	10.9	0.0	
	60代以上	44	31.8	6.8	4.5	34.1	4.5	72.7	6.8	0.0	
性年代別	男性20代	48	29.2	14.6	33.3	14.6	14.6	29.2	6.3	0.0	
	男性30代	42	14.3	19.0	38.1	16.7	16.7	26.2	7.1	0.0	
	男性40代	39	28.2	15.4	17.9	20.5	12.8	43.6	10.3	0.0	
	男性50代	27	40.7	3.7	14.8	22.2	7.4	40.7	3.7	0.0	
	男性60代以上	19	26.3	10.5	5.3	31.6	0.0	78.9	5.3	0.0	
	女性20代	37	32.4	16.2	35.1	16.2	18.9	21.6	5.4	2.7	
	女性30代	35	25.7	17.1	22.9	28.6	22.9	37.1	5.7	0.0	
	女性40代	15	40.0	0.0	6.7	6.7	0.0	60.0	6.7	0.0	
	女性50代	19	15.8	10.5	5.3	21.1	10.5	57.9	21.1	0.0	
	女性60代以上	25	36.0	4.0	4.0	36.0	8.0	68.0	8.0	0.0	

(20) 有毒植物に関する知識

Q20 有毒植物について、あなたが正しいと思う選択肢をすべて選んでください。(キノコ・タケノコを除く)。複数回答可

有毒植物について正しいと思うことについては、「観賞用として育てたスイセンをニラと間違えたことによる食中毒が多く発生している（正解）」が60.7%であった。一方、「「〇〇ゴボウ」「〇〇ジャスミン」など、食べられる植物の名前がついていても、有毒なものがある（正解）」は28.1%、「イヌサフランの芽生えにはにおいが無いが、よく似ているギョウジャニンニクの芽生えには特有のニンニク臭がある（正解）」は26.5%であった。また、「有毒植物による食中毒は夏に一番多く発生する（不正解）」は14.9%であった。

図表41 有毒植物に関する知識（複数回答）

選択肢	正誤	正答率			
		全体	栽培歴		
			10年以上	4-9年	3年以下
観賞用として育てたスイセンをニラと間違えたことによる食中毒が多く発生している	正	60.7%	67.4%	59.8%	55.5%
イヌサフランの芽生えにはにおいが無いが、よく似ているギョウジャニンニクの芽生えには特有のニンニク臭がある	正	26.5%	29.0%	30.6%	21.1%
「〇〇ゴボウ」「〇〇ジャスミン」など、食べられる植物の名前がついていても、有毒なものがある	正	28.1%	27.8%	32.3%	25.1%
有毒植物と食べられる植物は同じ時期に同じ場所で生育することがある	正	22.5%	25.7%	21.0%	20.8%

図表42 有毒植物に関する知識（複数回答）

選択肢	正誤	誤答率			
		全体	栽培歴		
			10年以上	4-9年	3年以下
有毒植物による食中毒は夏に一番多く発生する	誤※	14.9%	16.2%	16.2%	12.8%
正しいと思うものは無い	誤	13.2%	11.7%	8.2%	18.4%

※有毒植物による食中毒は春に一番多く発生する

【性別・年代別】

性年代別にみると、「観賞用として育てたスイセンをニラと間違えたことによる食中毒が多く発生している（正解）」では「男性60代以上」が71.0%、「女性40代」が77.0%、「女性50代」が73.0%、「女性60代以上」が74.0%と、全体（60.7%）を大きく上回った。また、「男性30代」が44.0%、「女性20代」が50.0%と、全体を大きく下回った。

図表43 【性別・年代別】 有毒植物に関する知識（複数回答）（%）

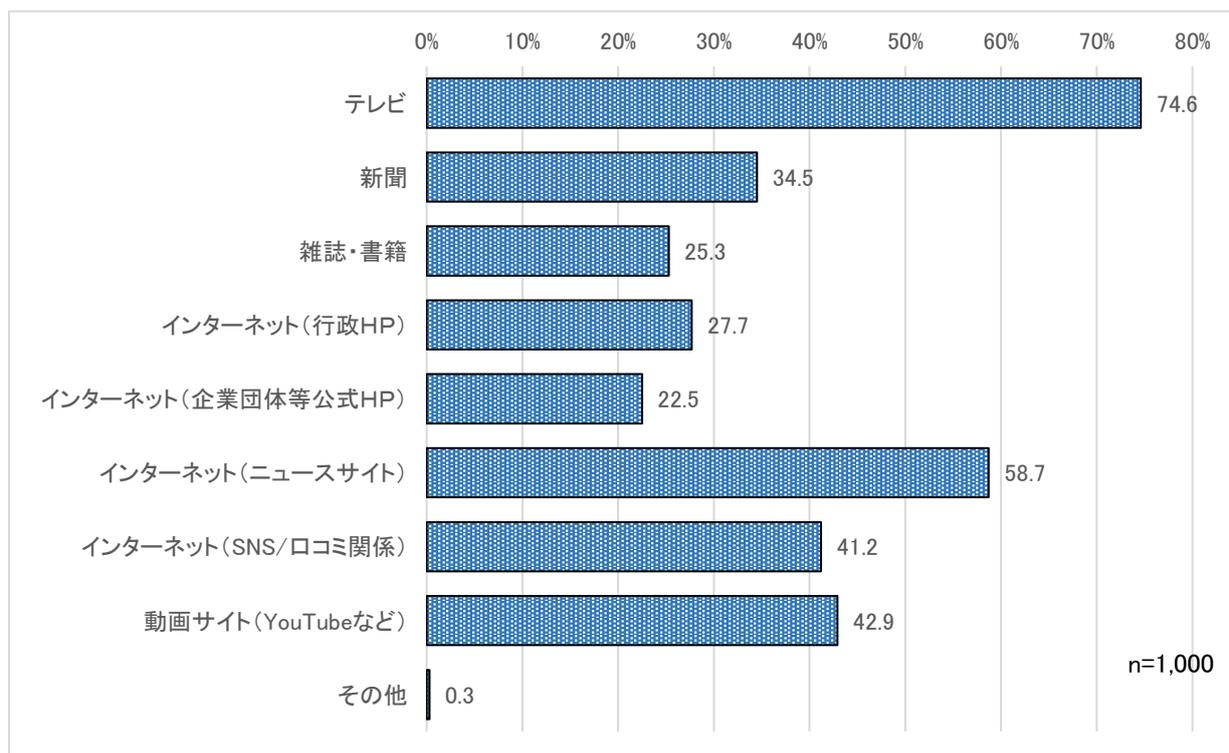
		n	観賞用として育てたスイセンをニラと間違えたことによる食中毒が多く発生している	生えには特有のニク臭がある	イヌサフランの芽生えにはにおいが芽	食用のものがある	「ゴボウ」「ジャスミン」など、有毒植物による食中毒は夏に一番多く発生する	有毒植物と食べられる植物は同じ時期に同じ場所でも生育することがある	正しいと思うものは無い
		正誤	正	正	正	誤	正	誤	
全体		1,000	60.7	26.5	28.1	14.9	22.5	13.2	
性別	男性	500	55.6	30.0	31.6	15.4	22.4	12.0	
	女性	500	65.8	23.0	24.6	14.4	22.6	14.4	
年代別	20代	200	51.0	28.5	31.0	15.5	15.0	17.0	
	30代	200	49.5	24.0	31.0	17.0	21.0	16.0	
	40代	200	64.0	29.0	29.0	15.5	20.5	12.5	
	50代	200	66.5	22.5	23.0	14.0	27.5	11.0	
	60代以上	200	72.5	28.5	26.5	12.5	28.5	9.5	
性年代別	男性20代	100	52.0	31.0	37.0	16.0	17.0	9.0	
	男性30代	100	44.0	27.0	36.0	19.0	20.0	14.0	
	男性40代	100	51.0	31.0	32.0	15.0	25.0	13.0	
	男性50代	100	60.0	28.0	24.0	17.0	27.0	14.0	
	男性60代以上	100	71.0	33.0	29.0	10.0	23.0	10.0	
	女性20代	100	50.0	26.0	25.0	15.0	13.0	25.0	
	女性30代	100	55.0	21.0	26.0	15.0	22.0	18.0	
	女性40代	100	77.0	27.0	26.0	16.0	16.0	12.0	
女性50代	100	73.0	17.0	22.0	11.0	28.0	8.0		
女性60代以上	100	74.0	24.0	24.0	15.0	34.0	9.0		

(21) 普段利用しているメディア・サービス

Q21 あなたが普段利用しているメディア・サービスを教えてください。複数回答可

普段利用しているメディア・サービスは、「テレビ」が74.6%、「インターネット（ニュースサイト）」が58.7%、「動画サイト（YouTubeなど）」が42.9%、「インターネット（SNS/ロコミ関係）」が41.2%であった。

図表44 普段利用しているメディア・サービス（複数回答）



【性別・年代別】

年代別にみると、「テレビ」、「新聞」では年代が上がるにつれ高くなり、「インターネット（SNS/ロコミ関係）」は、年代が下がるにつれ高くなった。

性年代別にみると、「テレビ」では「男性60代以上」が93.0%、「女性50代」が87.0%、「女性60代以上」が96.0%と、全体（74.6%）を大きく上回った。また、「男性20代」が57.0%、「男性30代」が64.0%、「女性20代」が58.0%、「女性30代」が62.0%と、全体を大きく下回った。

図表45 【性別・年代別】 普段利用しているメディア・サービス（複数回答）（%）

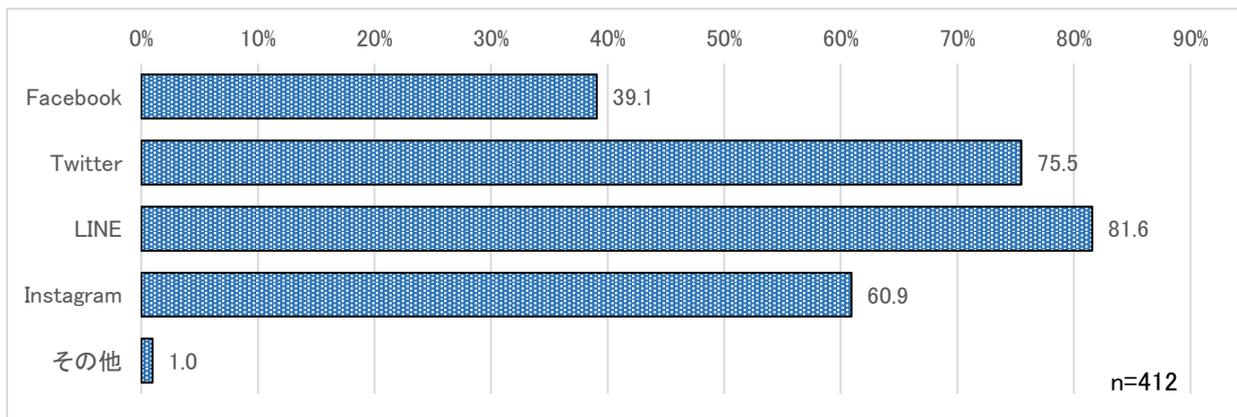
		n	テレビ	新聞	雑誌・書籍	インターネット（行政HP）	インターネット（企業団体等公式HP）	インターネット（ニュースサイト）	インターネット（SNS/ロコミ関係）	動画サイト（YouTubeなど）	その他
全体		1,000	74.6	34.5	25.3	27.7	22.5	58.7	41.2	42.9	0.3
性別	男性	500	73.2	37.8	25.8	28.6	25.6	58.2	40.0	44.0	0.4
	女性	500	76.0	31.2	24.8	26.8	19.4	59.2	42.4	41.8	0.2
年代別	20代	200	57.5	15.5	20.0	31.0	22.0	40.5	56.5	50.0	0.5
	30代	200	63.0	24.0	19.5	28.0	26.5	48.5	46.5	41.0	0.5
	40代	200	73.0	32.5	25.0	34.0	26.0	64.5	42.5	44.5	0.0
	50代	200	85.0	35.0	28.5	20.5	19.0	71.5	37.5	40.5	0.5
	60代以上	200	94.5	65.5	33.5	25.0	19.0	68.5	23.0	38.5	0.0
性年代別	男性20代	100	57.0	18.0	21.0	32.0	25.0	42.0	53.0	53.0	1.0
	男性30代	100	64.0	31.0	22.0	30.0	29.0	49.0	45.0	42.0	1.0
	男性40代	100	69.0	36.0	24.0	40.0	32.0	62.0	40.0	46.0	0.0
	男性50代	100	83.0	37.0	28.0	19.0	20.0	72.0	38.0	41.0	0.0
	男性60代以上	100	93.0	67.0	34.0	22.0	22.0	66.0	24.0	38.0	0.0
	女性20代	100	58.0	13.0	19.0	30.0	19.0	39.0	60.0	47.0	0.0
	女性30代	100	62.0	17.0	17.0	26.0	24.0	48.0	48.0	40.0	0.0
	女性40代	100	77.0	29.0	26.0	28.0	20.0	67.0	45.0	43.0	0.0
	女性50代	100	87.0	33.0	29.0	22.0	18.0	71.0	37.0	40.0	1.0
女性60代以上	100	96.0	64.0	33.0	28.0	16.0	71.0	22.0	39.0	0.0	

(22) 普段利用している具体的な SNS サービス

Q22 (Q21 で 7 と回答した人) 具体的な SNS サービスを教えてください。複数回答可

普段利用している具体的な SNS サービスは、「LINE」が 81.6%、「Twitter」が 75.5%、「Instagram」が 60.9%であった。

図表46 普段利用している具体的な SNS サービス (複数回答)



【性別・年代別】

年代別に見ると、「Twitter」と「Instagram」では、年代が下がるにつれ高くなった。

図表47 【性別・年代別】 普段利用している具体的なSNSサービス（複数回答）（%）

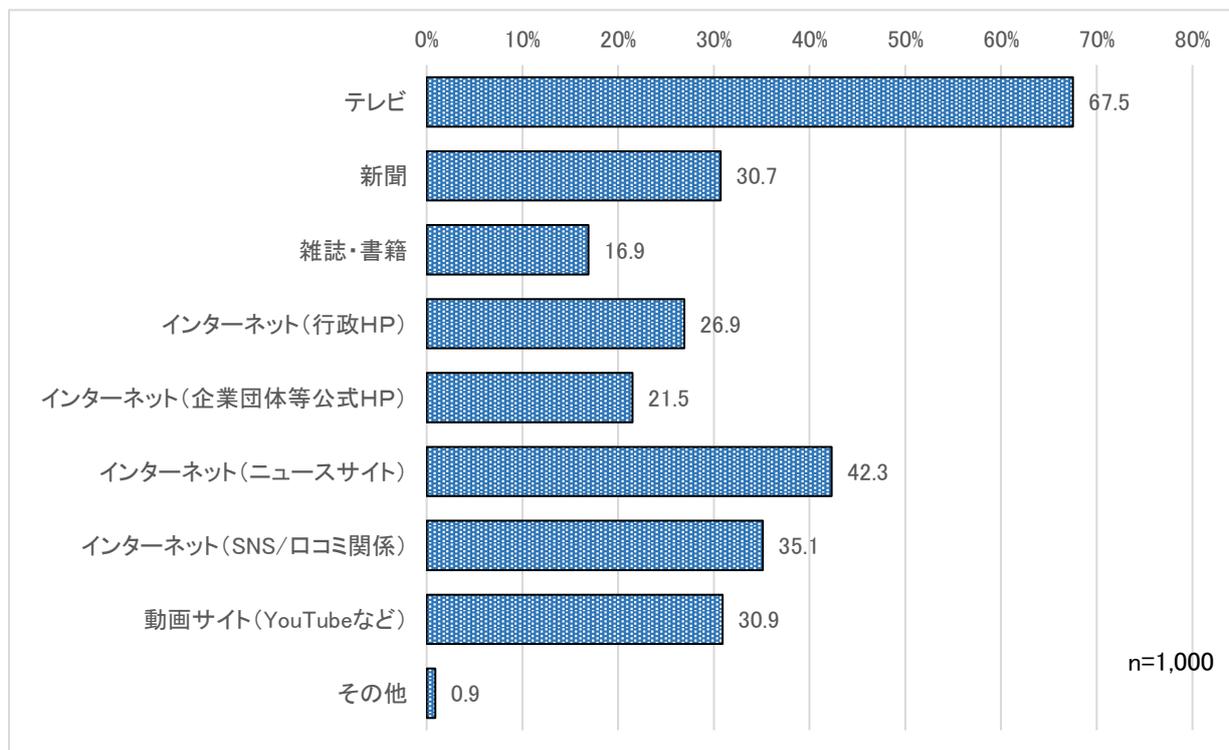
		n	F a c e b o o k	T w i t t e r	L I N E	I n s t a g r a m	そ の 他
全体		412	39.1	75.5	81.6	60.9	1.0
性別	男性	200	46.0	80.0	81.0	55.0	0.5
	女性	212	32.5	71.2	82.1	66.5	1.4
年代別	20代	113	28.3	89.4	82.3	77.9	0.0
	30代	93	41.9	77.4	80.6	61.3	1.1
	40代	85	45.9	74.1	76.5	65.9	0.0
	50代	75	40.0	72.0	82.7	42.7	2.7
	60代以上	46	45.7	45.7	89.1	39.1	2.2
性 年 代 別	男性20代	53	35.8	94.3	86.8	71.7	0.0
	男性30代	45	51.1	84.4	82.2	55.6	0.0
	男性40代	40	57.5	80.0	70.0	62.5	0.0
	男性50代	38	39.5	73.7	76.3	34.2	2.6
	男性60代以上	24	50.0	50.0	91.7	37.5	0.0
	女性20代	60	21.7	85.0	78.3	83.3	0.0
	女性30代	48	33.3	70.8	79.2	66.7	2.1
	女性40代	45	35.6	68.9	82.2	68.9	0.0
	女性50代	37	40.5	70.3	89.2	51.4	2.7
	女性60代以上	22	40.9	40.9	86.4	40.9	4.5

(23) 情報発信に効果的なメディア・サービス

Q23 あなたが情報発信に効果的だと思うメディア・サービスを教えてください。複数回答可

情報発信に効果的だと思うメディア・サービスは、「テレビ」が67.5%、「インターネット（ニュースサイト）」が42.3%、「インターネット（SNS/ロコミ関係）」が35.1%であった。

図表48 情報発信に効果的なメディア・サービス（複数回答）



【性別・年代別】

年代別にみると、「テレビ」はいずれの年代でも高かったが、「20代」、「30代」では、全体と比べて低かった。

「テレビ」以外では、「20代」は「インターネット（SNS/ロコミ関係）」、「動画サイト（YouTubeなど）」の順であり、「30代」は、「インターネット（ニュースサイト）」、「インターネット（SNS/ロコミ関係）」の順であった。

図表49 【性別・年代別】 情報発信に効果的なメディア・サービス（複数回答）（%）

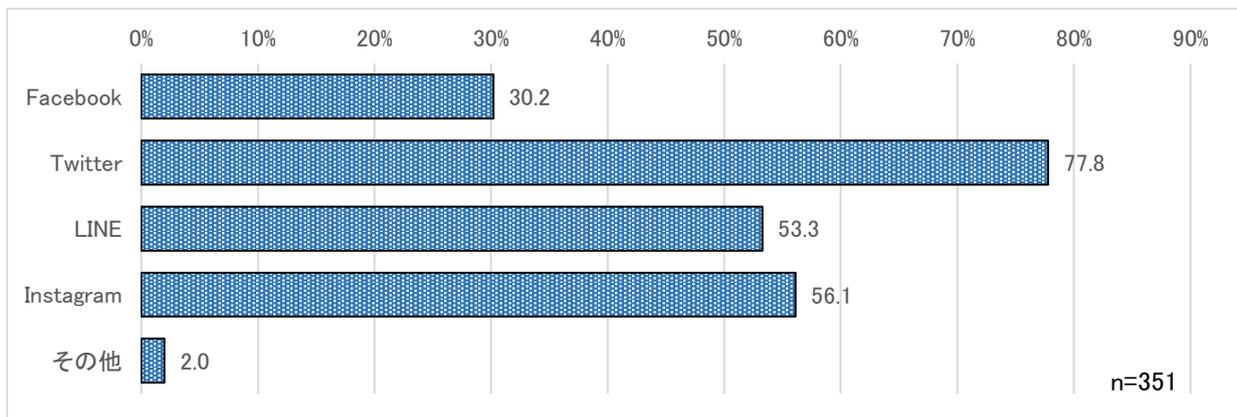
		n	テレビ	新聞	雑誌・書籍	インターネット（行政HP）	インターネット（企業団体等公式HP）	インターネット（ニュースサイト）	インターネット（SNS/ロコミ関係）	動画サイト（YouTubeなど）	その他
全体		1,000	67.5	30.7	16.9	26.9	21.5	42.3	35.1	30.9	0.9
性別	男性	500	66.0	32.8	20.0	28.2	22.4	42.8	33.6	31.4	1.6
	女性	500	69.0	28.6	13.8	25.6	20.6	41.8	36.6	30.4	0.2
年代別	20代	200	53.0	17.0	17.0	27.0	23.0	30.0	40.5	40.0	1.0
	30代	200	57.5	21.5	17.5	30.0	27.0	45.0	41.0	31.5	1.5
	40代	200	70.5	29.5	14.5	31.5	25.0	45.5	37.0	33.0	1.0
	50代	200	74.5	32.5	14.5	23.5	17.0	43.5	29.5	26.5	1.0
	60代以上	200	82.0	53.0	21.0	22.5	15.5	47.5	27.5	23.5	0.0
性年代別	男性20代	100	52.0	19.0	20.0	25.0	20.0	35.0	41.0	41.0	2.0
	男性30代	100	60.0	27.0	21.0	33.0	26.0	46.0	39.0	35.0	3.0
	男性40代	100	67.0	31.0	15.0	38.0	32.0	47.0	34.0	34.0	1.0
	男性50代	100	72.0	32.0	16.0	22.0	16.0	38.0	27.0	23.0	2.0
	男性60代以上	100	79.0	55.0	28.0	23.0	18.0	48.0	27.0	24.0	0.0
	女性20代	100	54.0	15.0	14.0	29.0	26.0	25.0	40.0	39.0	0.0
	女性30代	100	55.0	16.0	14.0	27.0	28.0	44.0	43.0	28.0	0.0
	女性40代	100	74.0	28.0	14.0	25.0	18.0	44.0	40.0	32.0	1.0
	女性50代	100	77.0	33.0	13.0	25.0	18.0	49.0	32.0	30.0	0.0
女性60代以上	100	85.0	51.0	14.0	22.0	13.0	47.0	28.0	23.0	0.0	

(24) 情報発信に効果的な具体的な SNS サービス

Q24 (Q23 で 7 と回答した人) 具体的な SNS サービスを教えてください。複数回答可

情報発信に効果的な具体的な SNS サービスは、「Twitter」が 77.8%、「Instagram」が 56.1%、「LINE」が 53.3%であった。

図表50 情報発信に効果的な具体的な SNS サービス (複数回答)



【性別・年代別】

性別・年代別については、図表 51 のとおり。

図表51 【性別・年代別】 情報発信に効果的な具体的な SNS サービス（複数回答）（%）

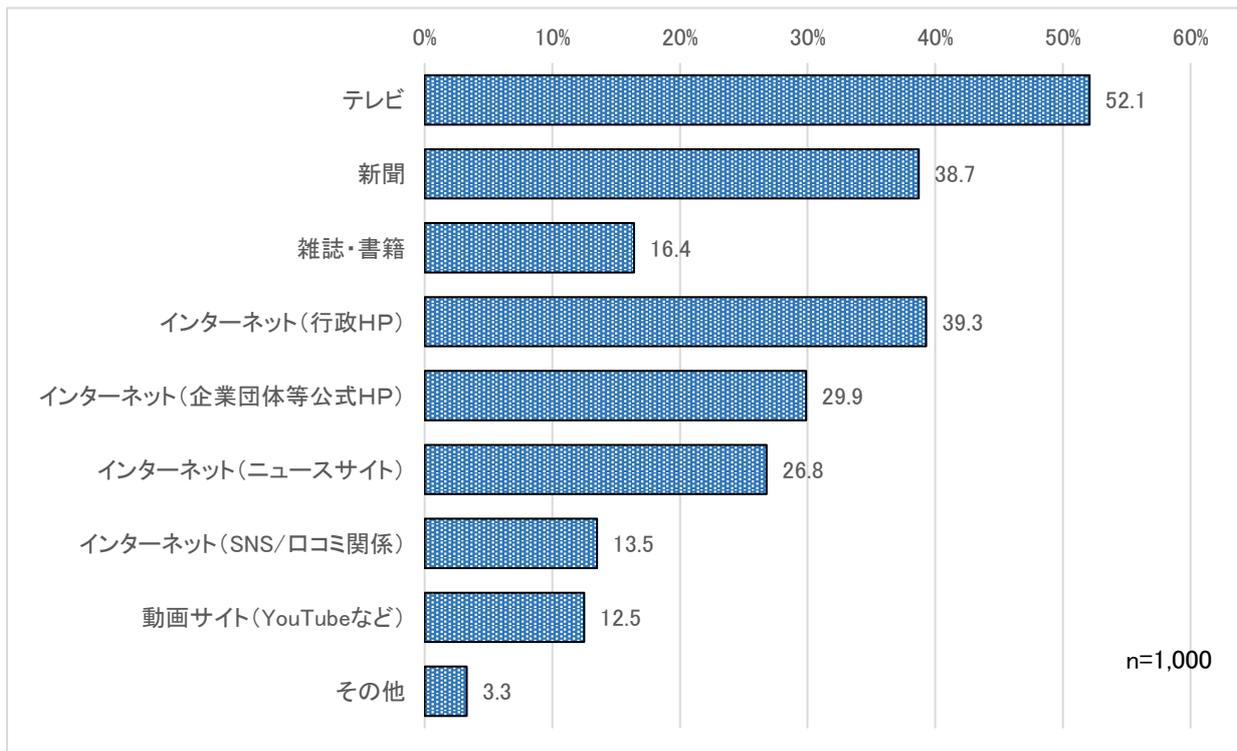
		n	F a c e b o o k	T w i t t e r	L I N E	I n s t a g r a m	そ の 他
全体		351	30.2	77.8	53.3	56.1	2.0
性別	男性	168	41.7	81.0	56.0	54.8	1.2
	女性	183	19.7	74.9	50.8	57.4	2.7
年代別	20代	81	19.8	92.6	46.9	71.6	0.0
	30代	82	31.7	79.3	47.6	52.4	2.4
	40代	74	31.1	79.7	58.1	55.4	2.7
	50代	59	22.0	76.3	49.2	42.4	5.1
	60代以上	55	50.9	52.7	69.1	54.5	0.0
性年代別	男性20代	41	24.4	95.1	43.9	68.3	0.0
	男性30代	39	46.2	84.6	53.8	53.8	2.6
	男性40代	34	44.1	82.4	64.7	55.9	0.0
	男性50代	27	37.0	77.8	48.1	25.9	3.7
	男性60代以上	27	63.0	55.6	74.1	63.0	0.0
	女性20代	40	15.0	90.0	50.0	75.0	0.0
	女性30代	43	18.6	74.4	41.9	51.2	2.3
	女性40代	40	20.0	77.5	52.5	55.0	5.0
	女性50代	32	9.4	75.0	50.0	56.3	6.3
	女性60代以上	28	39.3	50.0	64.3	46.4	0.0

(25) 信頼できるメディア・サービス

Q25 あなたが信頼できると思うメディア・サービスを教えてください。複数回答可

信頼できるメディア・サービスは、「テレビ」が 52.1%、「インターネット（行政HP）」が 39.3%、「新聞」が 38.7%であった。

図表52 信頼できるメディア・サービス（複数回答）



【性別・年代別】

年代別にみると、「動画サイト（YouTube など）」は年代が下がるにつれ高くなり、「テレビ」「新聞」は年代が上がるにつれ高くなった。

性年代別にみると、「テレビ」では「男性50代」が63.0%、「女性60代以上」が72.0%と、全体（52.1%）を大きく上回った。また、「男性20代」が39.0%、「女性20代」が41.0%、「女性30代」が37.0%と、全体を大きく下回った。「新聞」では「男性60代以上」が65.0%、「女性60代以上」が67.0%と、全体（38.7%）を大きく上回った。また、「男性20代」が19.0%、「女性20代」が23.0%、「女性30代」が25.0%と、全体を大きく下回った。

図表53 【性別・年代別】 信頼できるメディア・サービス（複数回答）（%）

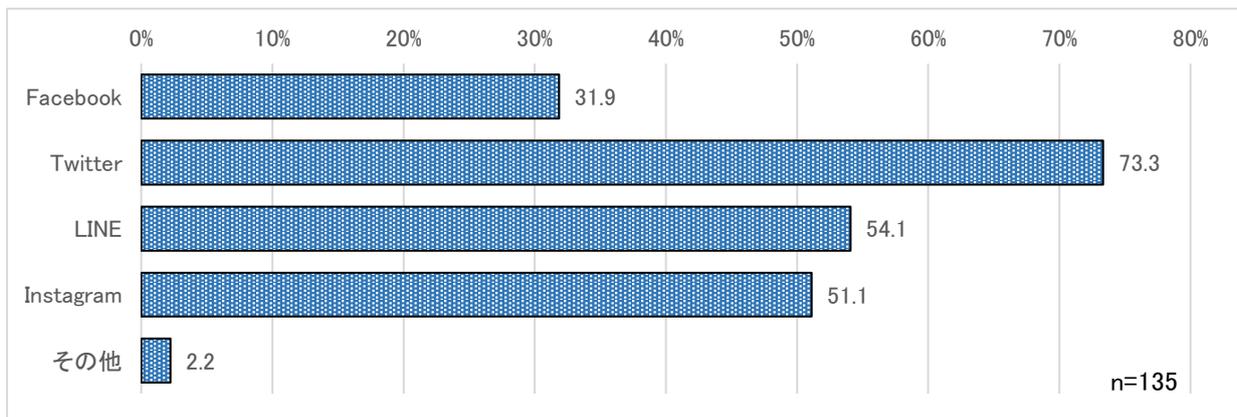
		n	テレビ	新聞	雑誌・書籍	インターネット（行政HP）	インターネット（企業団体等公式HP）	インターネット（ニュースサイト）	インターネット（SNS/ロコミ関係）	動画サイト（YouTubeなど）	その他
全体		1,000	52.1	38.7	16.4	39.3	29.9	26.8	13.5	12.5	3.3
性別	男性	500	52.6	39.2	17.2	40.2	31.4	25.6	14.0	13.0	4.0
	女性	500	51.6	38.2	15.6	38.4	28.4	28.0	13.0	12.0	2.6
年代別	20代	200	40.0	21.0	12.0	34.5	34.0	22.0	16.5	20.5	4.0
	30代	200	43.5	27.5	18.0	45.5	35.0	31.0	22.5	18.5	2.5
	40代	200	51.5	33.0	18.5	40.5	30.5	30.5	18.0	13.5	3.5
	50代	200	60.5	46.0	15.0	38.0	25.0	23.5	7.0	6.0	1.5
	60代以上	200	65.0	66.0	18.5	38.0	25.0	27.0	3.5	4.0	5.0
性年代別	男性20代	100	39.0	19.0	11.0	36.0	38.0	23.0	18.0	16.0	3.0
	男性30代	100	50.0	30.0	18.0	48.0	40.0	27.0	22.0	19.0	4.0
	男性40代	100	53.0	36.0	20.0	44.0	33.0	33.0	19.0	15.0	4.0
	男性50代	100	63.0	46.0	17.0	36.0	23.0	23.0	7.0	8.0	3.0
	男性60代以上	100	58.0	65.0	20.0	37.0	23.0	22.0	4.0	7.0	6.0
	女性20代	100	41.0	23.0	13.0	33.0	30.0	21.0	15.0	25.0	5.0
	女性30代	100	37.0	25.0	18.0	43.0	30.0	35.0	23.0	18.0	1.0
	女性40代	100	50.0	30.0	17.0	37.0	28.0	28.0	17.0	12.0	3.0
	女性50代	100	58.0	46.0	13.0	40.0	27.0	24.0	7.0	4.0	0.0
女性60代以上	100	72.0	67.0	17.0	39.0	27.0	32.0	3.0	1.0	4.0	

(26) 信頼できる具体的な SNS サービス

Q26 (Q25 で 7 と回答した人) 具体的な SNS サービスを教えてください。複数回答可

信頼できる具体的な SNS サービスは、「Twitter」が 73.3%、「LINE」が 54.1%、「Instagram」が 51.1%であった。

図表54 信頼できる具体的な SNS サービス (複数回答)



【性別・年代別】

性別・年代別については、図表 55 のとおり。

図表55 【性別・年代別】 信頼できる具体的な SNS サービス（複数回答）（%）

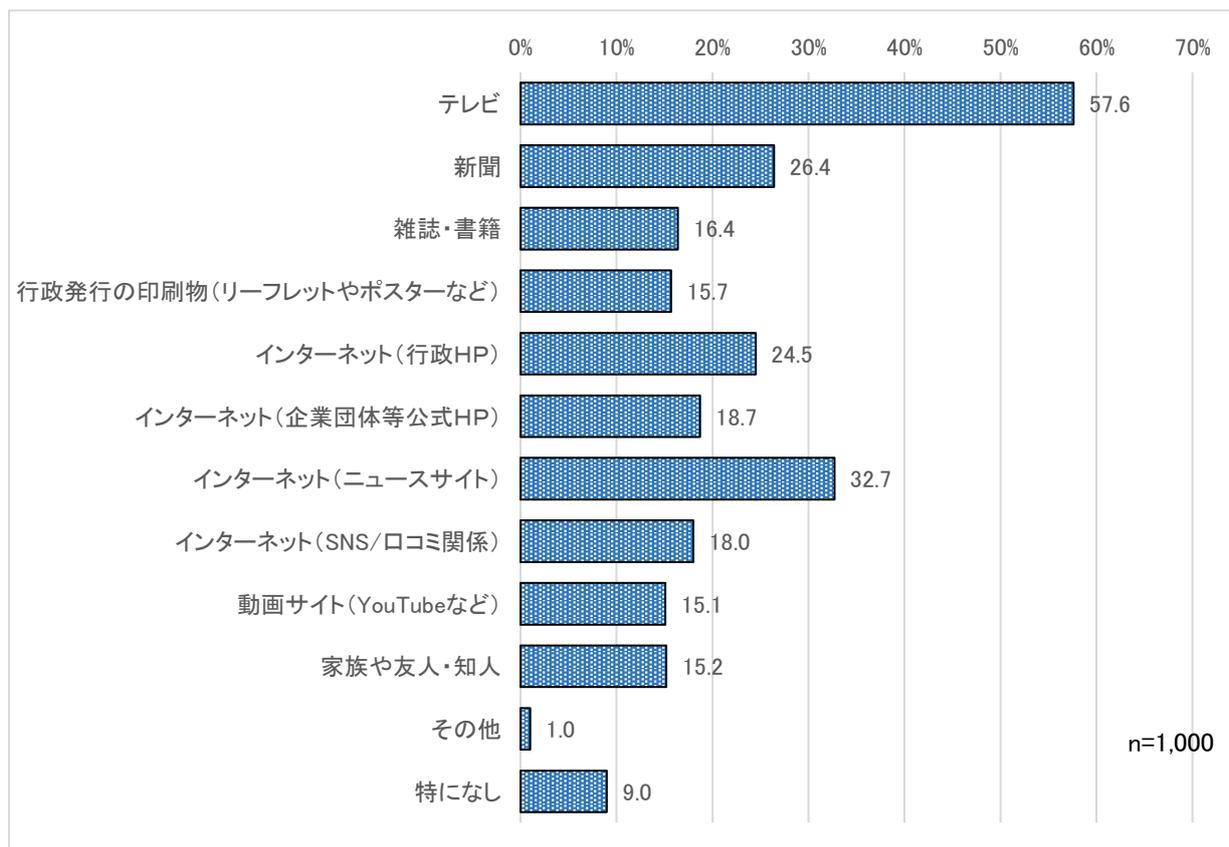
		n	F a c e b o o k	T w i t t e r	L I N E	I n s t a g r a m	そ の 他
全体		135	31.9	73.3	54.1	51.1	2.2
性別	男性	70	35.7	72.9	60.0	55.7	1.4
	女性	65	27.7	73.8	47.7	46.2	3.1
年代別	20代	33	18.2	72.7	60.6	60.6	0.0
	30代	45	51.1	77.8	62.2	55.6	2.2
	40代	36	22.2	72.2	47.2	47.2	0.0
	50代	14	21.4	64.3	28.6	21.4	14.3
	60代以上	7	42.9	71.4	57.1	57.1	0.0
性 年 代 別	男性20代	18	16.7	77.8	55.6	55.6	0.0
	男性30代	22	63.6	72.7	68.2	63.6	4.5
	男性40代	19	31.6	68.4	57.9	63.2	0.0
	男性50代	7	14.3	71.4	42.9	14.3	0.0
	男性60代以上	4	25.0	75.0	75.0	50.0	0.0
	女性20代	15	20.0	66.7	66.7	66.7	0.0
	女性30代	23	39.1	82.6	56.5	47.8	0.0
	女性40代	17	11.8	76.5	35.3	29.4	0.0
	女性50代	7	28.6	57.1	14.3	28.6	28.6
	女性60代以上	3	66.7	66.7	33.3	66.7	0.0

(27) 食品の安全性に関する情報

Q27 あなたは食品の安全性に関する情報について、どこから得ることが多いですか。複数回答可

食品の安全性に関する情報をどこから得ることが多いかについては、「テレビ」が 57.6%、「インターネット（ニュースサイト）」が 32.7%、「新聞」が 26.4%であった。

図表56 食品の安全性に関する情報（複数回答）



【性別・年代別】

年代別にみると、「テレビ」、「新聞」は年代が上がるにつれ高くなり、「インターネット（SNS/口コミ関係）」と「動画サイト（YouTube など）」は年代が下がるにつれ高くなった。

性年代別にみると、「テレビ」では「男性 60 代以上」が 71.0%、「女性 50 代」が 68.0%、「女性 60 代以上」が 81.0%と、全体（57.6%）を大きく上回った。また、「男性 20 代」が 44.0%、「男性 30 代」が 43.0%、「男性 40 代」が 46.0%、「女性 20 代」が 45.0%と、全体を大きく下回った。「インターネット（ニュースサイト）」では「女性 20 代」が 20.0%と、全体（32.7%）を大きく下回った。

図表57 【性別・年代別】 食品の安全性に関する情報（複数回答）（%）

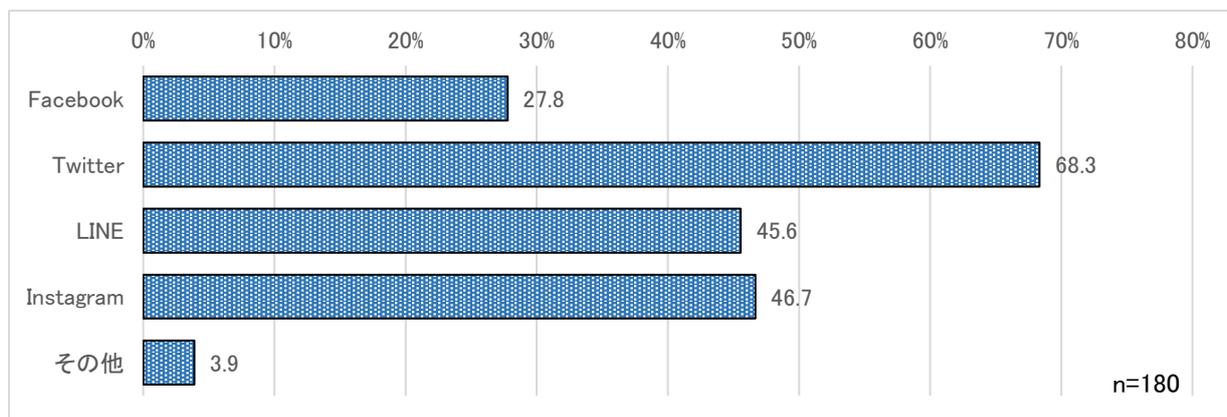
		n	テレビ	新聞	雑誌・書籍	行政発行の印刷物 （リーフレットやポスターなど）	インターネット （行政HP）	インターネット （企業団体等公式HP）	インターネット （ニュースサイト）	インターネット （SNS/口コミ関係）	動画サイト （YouTube など）	家族や友人・知人	その他	特になし
全体		1,000	57.6	26.4	16.4	15.7	24.5	18.7	32.7	18.0	15.1	15.2	1.0	9.0
性別	男性	500	54.2	26.8	18.0	17.6	27.2	19.8	33.2	15.6	15.6	13.2	0.8	9.6
	女性	500	61.0	26.0	14.8	13.8	21.8	17.6	32.2	20.4	14.6	17.2	1.2	8.4
年代別	20代	200	44.5	10.5	14.5	17.0	22.0	21.5	24.0	26.0	22.0	12.5	0.5	11.5
	30代	200	47.5	16.5	18.5	21.5	27.0	21.5	34.5	23.5	21.0	13.5	1.0	10.5
	40代	200	52.5	23.0	14.5	13.0	27.0	23.0	34.0	20.0	13.5	16.5	2.5	8.5
	50代	200	67.5	26.0	14.5	9.0	21.5	17.5	32.5	12.0	10.0	15.0	0.0	8.5
	60代以上	200	76.0	56.0	20.0	18.0	25.0	10.0	38.5	8.5	9.0	18.5	1.0	6.0
性年代別	男性20代	100	44.0	10.0	14.0	19.0	30.0	24.0	28.0	24.0	19.0	9.0	1.0	12.0
	男性30代	100	43.0	17.0	24.0	25.0	29.0	23.0	28.0	18.0	22.0	13.0	1.0	12.0
	男性40代	100	46.0	26.0	17.0	15.0	31.0	23.0	35.0	16.0	16.0	16.0	2.0	11.0
	男性50代	100	67.0	23.0	16.0	9.0	16.0	15.0	36.0	12.0	12.0	10.0	0.0	7.0
	男性60代以上	100	71.0	58.0	19.0	20.0	30.0	14.0	39.0	8.0	9.0	18.0	0.0	6.0
	女性20代	100	45.0	11.0	15.0	15.0	14.0	19.0	20.0	28.0	25.0	16.0	0.0	11.0
	女性30代	100	52.0	16.0	13.0	18.0	25.0	20.0	41.0	29.0	20.0	14.0	1.0	9.0
	女性40代	100	59.0	20.0	12.0	11.0	23.0	23.0	33.0	24.0	11.0	17.0	3.0	6.0
	女性50代	100	68.0	29.0	13.0	9.0	27.0	20.0	29.0	12.0	8.0	20.0	0.0	10.0
	女性60代以上	100	81.0	54.0	21.0	16.0	20.0	6.0	38.0	9.0	9.0	19.0	2.0	6.0

(28) 食品の安全性に関する具体的な SNS サービス

Q28 (Q27 で 8 と回答した人) 具体的な SNS サービスを教えてください。複数回答可

食品の安全性に関する具体的な SNS サービスは、「Twitter」が 68.3%、「Instagram」が 46.7%、「LINE」が 45.6%であった。

図表58 食品の安全性に関する具体的な SNS サービス (複数回答)



【性別・年代別】

性別・年代別については、図表 59 のとおり。

図表59 【性別・年代別】 食品の安全性に関する具体的な SNS サービス（複数回答）（%）

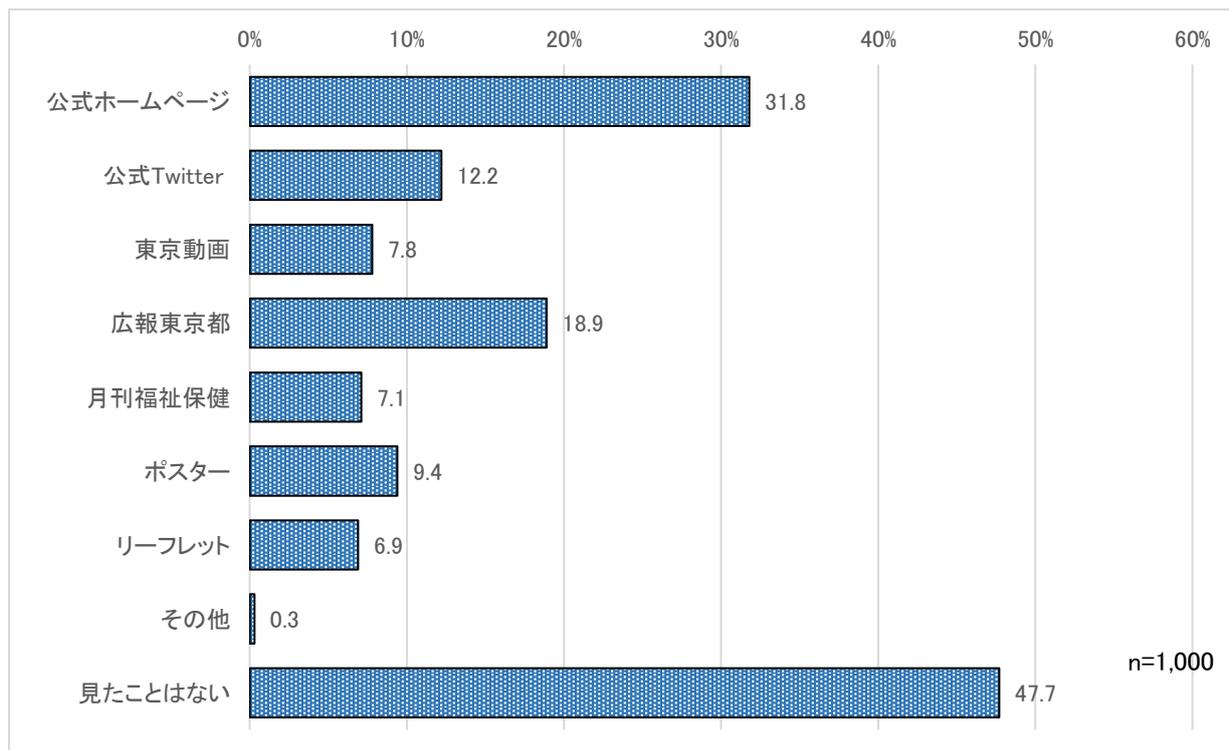
		n	F a c e b o o k	T w i t t e r	L I N E	I n s t a g r a m	そ の 他
全体		180	27.8	68.3	45.6	46.7	3.9
性別	男性	78	37.2	71.8	48.7	48.7	2.6
	女性	102	20.6	65.7	43.1	45.1	4.9
年代別	20代	52	17.3	73.1	40.4	67.3	1.9
	30代	47	42.6	76.6	55.3	46.8	0.0
	40代	40	30.0	72.5	42.5	50.0	2.5
	50代	24	20.8	54.2	37.5	16.7	8.3
	60代以上	17	23.5	41.2	52.9	17.6	17.6
性年代別	男性20代	24	16.7	79.2	37.5	58.3	0.0
	男性30代	18	66.7	88.9	66.7	50.0	0.0
	男性40代	16	56.3	68.8	43.8	75.0	0.0
	男性50代	12	16.7	50.0	50.0	8.3	8.3
	男性60代以上	8	25.0	50.0	50.0	25.0	12.5
	女性20代	28	17.9	67.9	42.9	75.0	3.6
	女性30代	29	27.6	69.0	48.3	44.8	0.0
	女性40代	24	12.5	75.0	41.7	33.3	4.2
	女性50代	12	25.0	58.3	25.0	25.0	8.3
	女性60代以上	9	22.2	33.3	55.6	11.1	22.2

(29) 東京都からの食品の安全性に関する情報

Q29 東京都からの食品の安全性に関する情報について、あなたが見たことがあるのはどれですか。
複数回答可

東京都からの食品の安全性に関する情報について見たことがあるのは、「公式ホームページ」が31.8%、「広報東京都」が18.9%、「公式Twitter」が12.2%であった。一方、「見たことはない」は47.7%であった。

図表60 東京都からの食品の安全性に関する情報（複数回答）



【性別・年代別】

年代別にみると、見たことがあるものの中では、「公式ホームページ」がいずれの年代でも一番高かった。「広報東京都」では「60代以上」が26.5%と、全体（18.9%）を上回った。

性年代別にみると、「公式ホームページ」では「男性40代」が43.0%と、全体（31.8%）を大きく上回った。「広報東京都」では「女性60代以上」が29.0%と、全体（18.9%）を大きく上回った。「見たことはない」では「男性50代」が58.0%と、全体（47.7%）を大きく上回った。

図表61 【性別・年代別】東京都からの食品の安全性に関する情報（複数回答）（%）

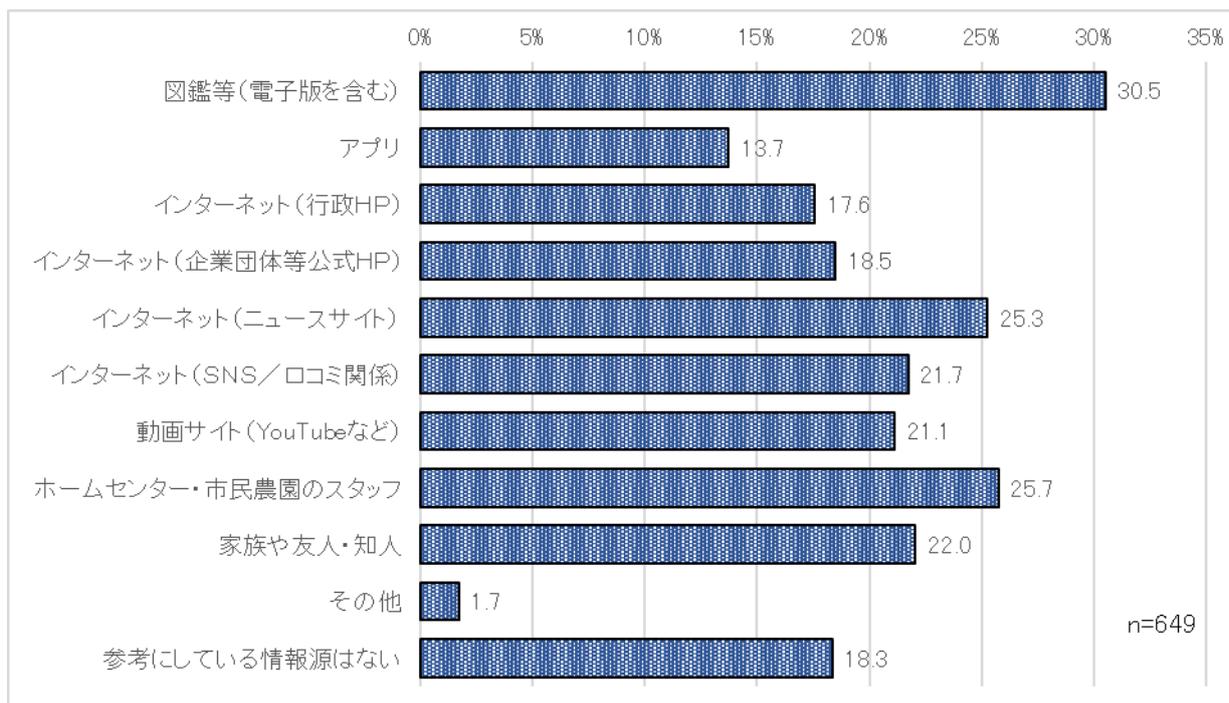
		n	公式ホームページ	公式Twitter	東京動画	広報東京都	月刊福祉保健	ポスター	リーフレット	その他	見たことはない
全体		1,000	31.8	12.2	7.8	18.9	7.1	9.4	6.9	0.3	47.7
性別	男性	500	33.4	14.4	8.6	21.0	6.8	9.0	7.2	0.0	44.4
	女性	500	30.2	10.0	7.0	16.8	7.4	9.8	6.6	0.6	51.0
年代別	20代	200	31.5	20.0	12.0	15.0	11.5	11.5	6.5	0.0	40.5
	30代	200	32.5	20.5	12.0	19.0	14.5	13.5	9.5	0.5	39.0
	40代	200	33.0	12.5	7.5	16.0	7.0	6.0	4.5	0.0	48.5
	50代	200	28.5	5.0	4.0	18.0	1.0	6.0	4.0	1.0	57.0
	60代以上	200	33.5	3.0	3.5	26.5	1.5	10.0	10.0	0.0	53.5
性年代別	男性20代	100	31.0	22.0	13.0	20.0	9.0	11.0	6.0	0.0	37.0
	男性30代	100	32.0	25.0	15.0	25.0	14.0	14.0	11.0	0.0	36.0
	男性40代	100	43.0	18.0	10.0	18.0	9.0	4.0	2.0	0.0	40.0
	男性50代	100	27.0	4.0	4.0	18.0	1.0	6.0	4.0	0.0	58.0
	男性60代以上	100	34.0	3.0	1.0	24.0	1.0	10.0	13.0	0.0	51.0
	女性20代	100	32.0	18.0	11.0	10.0	14.0	12.0	7.0	0.0	44.0
	女性30代	100	33.0	16.0	9.0	13.0	15.0	13.0	8.0	1.0	42.0
	女性40代	100	23.0	7.0	5.0	14.0	5.0	8.0	7.0	0.0	57.0
	女性50代	100	30.0	6.0	4.0	18.0	1.0	6.0	4.0	2.0	56.0
	女性60代以上	100	33.0	3.0	6.0	29.0	2.0	10.0	7.0	0.0	56.0

(30) 植物を育てるにあたって参考になっている情報源

Q30 (Q1で1と回答した人) あなたが植物を育てるにあたって、参考になっている情報源をお答えください。複数回答可

植物を育てるにあたって参考になっている情報源は、「図鑑等(電子版を含む)」が30.5%、「ホームセンター・市民農園のスタッフ」が25.7%、「インターネット(ニュースサイト)」が25.3%であった。

図表62 植物を育てるにあたって参考になっている情報源(複数回答)



【性別・年代別】

年代別にみると、「インターネット（行政HP）」は年代が下がるにつれて高くなった。

性年代別にみると、「図鑑等（電子版を含む）」では「男性 60 代以上」が 44.9%と、全体（30.5%）を大きく上回った。「インターネット（ニュースサイト）」では「女性 30 代」が 38.1%と、全体（25.3%）を大きく上回った。

図表63 【性別・年代別】 植物を育てるにあたって参考になっている情報源（複数回答）（%）

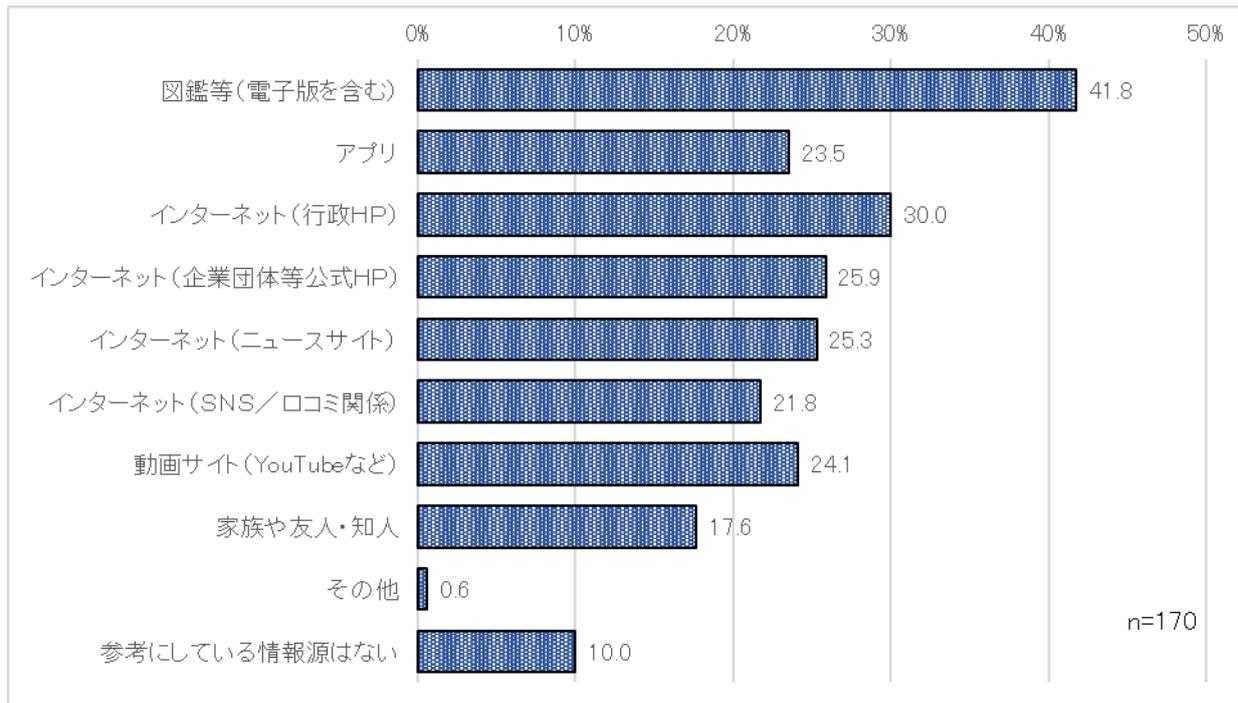
		n	図鑑等 （電子版を含む）	アプリ	インターネット （行政HP）	インターネット （企業団体等公式HP）	インターネット （ニュースサイト）	インターネット （SNS／口コミ関係）	動画サイト （YouTubeなど）	ホームセンター・市民農園の スタッフ	家族や友人・知人	その他	参考にして いる情報源 はない
全体		649	30.5	13.7	17.6	18.5	25.3	21.7	21.1	25.7	22.0	1.7	18.3
性別	男性	330	33.9	16.7	18.8	21.5	25.5	23.0	22.4	25.5	19.7	1.2	15.2
	女性	319	27.0	10.7	16.3	15.4	25.1	20.4	19.7	26.0	24.5	2.2	21.6
年代別	20代	121	30.6	14.9	24.8	28.1	27.3	31.4	23.1	22.3	16.5	0.8	13.2
	30代	130	30.8	18.5	23.8	21.5	36.2	34.6	30.8	19.2	21.5	0.0	11.5
	40代	130	27.7	12.3	20.0	21.5	26.9	17.7	20.0	26.2	23.1	1.5	20.8
	50代	129	24.0	8.5	10.9	10.9	18.6	17.1	12.4	27.1	17.1	3.9	28.7
	60代以上	139	38.8	14.4	9.4	11.5	18.0	9.4	19.4	33.1	30.9	2.2	17.3
性年代別	男性20代	68	32.4	16.2	25.0	35.3	25.0	35.3	22.1	22.1	17.6	1.5	11.8
	男性30代	67	32.8	28.4	22.4	26.9	34.3	35.8	32.8	20.9	20.9	0.0	7.5
	男性40代	64	32.8	15.6	25.0	20.3	29.7	20.3	26.6	25.0	17.2	1.6	15.6
	男性50代	62	25.8	9.7	14.5	8.1	19.4	16.1	11.3	27.4	16.1	3.2	25.8
	男性60代以上	69	44.9	13.0	7.2	15.9	18.8	7.2	18.8	31.9	26.1	0.0	15.9
	女性20代	53	28.3	13.2	24.5	18.9	30.2	26.4	24.5	22.6	15.1	0.0	15.1
	女性30代	63	28.6	7.9	25.4	15.9	38.1	33.3	28.6	17.5	22.2	0.0	15.9
	女性40代	66	22.7	9.1	15.2	22.7	24.2	15.2	13.6	27.3	28.8	1.5	25.8
	女性50代	67	22.4	7.5	7.5	13.4	17.9	17.9	13.4	26.9	17.9	4.5	31.3
	女性60代以上	70	32.9	15.7	11.4	7.1	17.1	11.4	20.0	34.3	35.7	4.3	18.6

(31) 採取にあたって参考にしている情報源

Q31 (Q15 で 1~2 と回答した人) あなたが野山で植物を採取するにあたって参考にしている情報源をお答えください (キノコ・タケノコを除く)。複数回答可

採取にあたって参考にしている情報源は、「図鑑等 (電子版を含む)」が 41.8%、「インターネット (行政HP)」が 30.0%、「インターネット (企業団体等公式HP)」が 25.9%であった。

図表64 採取にあたって参考にしている情報源 (複数回答)



【性別・年代別】

性別・年代別については、図表 65 のとおり。

図表65 【性別・年代別】 採取にあたって参考にしてしている情報源（複数回答）（%）

		n	図鑑等（電子版を含む）	アプリ	インターネット（行政HP）	インターネット（企業団体等公式HP）	インターネット（ニュースサイト）	インターネット（SNS／口コミ関係）	動画サイト（YouTubeなど）	家族や友人・知人	その他	参考にしていない情報源はない
全体		170	41.8	23.5	30.0	25.9	25.3	21.8	24.1	17.6	0.6	10.0
性別	男性	107	43.9	23.4	29.9	28.0	26.2	18.7	24.3	15.0	0.9	8.4
	女性	63	38.1	23.8	30.2	22.2	23.8	27.0	23.8	22.2	0.0	12.7
年代別	20代	55	47.3	30.9	34.5	29.1	20.0	25.5	29.1	9.1	0.0	7.3
	30代	47	42.6	27.7	42.6	29.8	46.8	23.4	29.8	14.9	0.0	2.1
	40代	24	45.8	12.5	33.3	33.3	29.2	33.3	25.0	25.0	0.0	4.2
	50代	15	26.7	33.3	6.7	20.0	6.7	13.3	26.7	13.3	6.7	20.0
	60代以上	29	34.5	6.9	10.3	10.3	6.9	6.9	3.4	34.5	0.0	27.6
性年代別	男性20代	36	47.2	27.8	30.6	33.3	22.2	19.4	25.0	5.6	0.0	8.3
	男性30代	27	48.1	25.9	40.7	33.3	40.7	14.8	33.3	11.1	0.0	0.0
	男性40代	16	43.8	18.8	43.8	31.3	37.5	37.5	31.3	18.8	0.0	6.3
	男性50代	10	30.0	30.0	10.0	10.0	10.0	10.0	20.0	10.0	10.0	20.0
	男性60代以上	18	38.9	11.1	11.1	16.7	11.1	11.1	5.6	38.9	0.0	16.7
	女性20代	19	47.4	36.8	42.1	21.1	15.8	36.8	36.8	15.8	0.0	5.3
	女性30代	20	35.0	30.0	45.0	25.0	55.0	35.0	25.0	20.0	0.0	5.0
	女性40代	8	50.0	0.0	12.5	37.5	12.5	25.0	12.5	37.5	0.0	0.0
	女性50代	5	20.0	40.0	0.0	40.0	0.0	20.0	40.0	20.0	0.0	20.0
	女性60代以上	11	27.3	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3	0.0	45.5

第3章 まとめ

1 食用の植物の栽培歴

過去10年間に本人又は同居家族が自宅や家庭菜園等で植物を育てて食べた経験のある20歳以上の都民（以下、調査対象者）の栽培歴は、「3年以下」が4割弱で最も高かった（図表5）。

2 食用の植物の栽培から喫食までの実態

調査対象者の植物の入手先は、「実店舗（園芸店等）で、食用の植物であることを確認して購入した」が最も高く、全体の7割弱であった（図表6）。植物を植えた場所は、「庭・ベランダ（鉢・プランター）」が6割弱で最も高かった（図表8）。また、栽培歴が長くなるにつれ「庭（直植え）」が高くなった（図表9）。

植物を育てている状況は、「植える場所を決めて、定期的に雑草などを取り除くなどの手入れをした」が6割半ばと最も高かった（図表10）。また、栽培歴が長くなるにつれ「植える場所を決めて、定期的に雑草などを取り除くなどの手入れをした」が高くなった（図表11）。

植物を植える場所を決めていると回答した調査対象者のうち、「特に区画はしていないが、植える場所を分けている」は2割半ばであった（図表12）。

食用の植物と観賞用の植物の区分けについては、ある程度以上の区分けをしていた割合が6割弱であった（図表14）。栽培歴が「3年以下」では、ある程度以上の区分けをしている割合が低かったが、「観賞用植物を植えていない」が高かった（図表15）。

食用かどうか判断に自信がない場合の対応方法は、「食用の植物を植えたはずなので、確認しないで食べる」が3割近くと最も高かった（図表16）。また、『食用の植物と観賞用の植物を植える場所をある程度以上分けている』と回答した調査対象者では、何らかの方法で確認して食べる割合が高かった。一方、『食用の植物と観賞用の植物を植える場所を分けていない』と回答した調査対象者では、食用かどうか迷った時に「食用の植物を植えたはずなので、確認しないで食べる」割合が高かった（図表17）。

3 園芸植物等に関連する食中毒の知識

植物による食中毒の知識については、「植物によっては、死亡や重い症状になる場合がある」と知っていたのは約5割、「植物によっては、嘔吐などの症状がでる場合がある」と知っていたのは4割半ばであった（図表18）。栽培歴が「3年以下」だと、「食中毒を起こす植物があることを知らなかった」が全体と比べて高くなった（図表19）。

有毒植物による食中毒の知識を持つ調査対象者のうち、食べると食中毒を起こす植物について「名前も見た目も知っているものがある」は3割半ばにとどまり、「植物の名前も見た目も知らない」は約2割であった（図表20）。栽培歴が長くなるにつれ、「食中毒を起こす植物について、名前も見た目も知っているものがある」と回答した割合が高くなった（図表21）。

食中毒を起こす観賞用の植物についての認知度が最も高かったのは「スイセン（ニラと誤認）」で、8割を超えた。一方、「チョウセンアサガオ（ゴボウ、オクラ、ゴマと誤認）」は約4割、それ以外の植物はさらに低かった（図表22）。この傾向は、いずれの栽培歴でもほぼ同様であった（図表23）。

有毒植物による食中毒事件が毎年全国各地で発生していることについては、7割を超える調査対象者が知っていた（図表35）。一方、令和4年に宮崎県、秋田市、旭川市で発生した死亡事件を知

っていたのは、いずれも2割未満であった（図表37）。

有毒植物について正しいと思うことについては、最も正答率が高かった「観賞用として育てたスイセンをニラと間違えたことによる食中毒が多く発生している（正解）」であっても約6割にとどまった。他の項目についての正答率はさらに低く、いずれも3割未満であった（図表41）。

4 山野草の喫食実態等

野外で採取した（された）植物を食べたことがあるかについて、3割近くが「食べたことがある」と回答した（図表29）。野山などに自然に生えている植物を食べた経験については、「家族や友人・知人からもらって食べる」が4割近くと最も高かった（図表31）。

5 食品の安全性に関する情報源

普段利用しているメディア・サービスは、「テレビ」が7割半ばと最も高く、次いで「インターネット（ニュースサイト）」が約6割であった。また、「インターネット（SNS/ロコミ関係）」と「動画サイト（YouTubeなど）」はともに4割を超えた（図表44）。年代別にみると、「テレビ」、「新聞」では年代が上がるにつれ高くなり、「インターネット（SNS/ロコミ関係）」は、年代が下がるにつれ高くなった（図表45）。具体的なSNSサービスでは、「LINE」が最も高く、次いで「Twitter」、「Instagram」の順であった（図表46）。

情報発信に効果的だと思うメディア・サービスも、「テレビ」が6割半ばと最も高く、次いで「インターネット（ニュースサイト）」が4割強、「インターネット（SNS/ロコミ関係）」が3割半ばであった（図表48）。年代別にみると、「テレビ」はいずれの年代でも高かったが、「20代」、「30代」では、全体と比べて低かった（図表49）。具体的なSNSサービスでは、「Twitter」が最も高く、次いで「Instagram」、「LINE」の順となった（図表50）。

信頼できるメディア・サービスも、「テレビ」が5割を超えて最も高く、「インターネット（行政HP）」、「新聞」はともに4割弱であった（図表52）。SNSサービスでは、「Twitter」が最も高く、次いで「LINE」、「Instagram」の順となった（図表54）。

食品の安全性に関する情報源については、「テレビ」が6割弱と最も高く、次いで「インターネット（ニュースサイト）」が3割強であった（図表56）。SNSサービスでは、「Twitter」が最も高く、次いで「Instagram」、「LINE」の順となった（図表58）。

東京都からの食品の安全性に関する情報では、「公式ホームページ」が約3割で最も見られていた。一方、「見たことはない」は約5割であった（図表60）。

植物を育てるにあたって参考になっている情報源については、「図鑑等（電子版を含む）」が3割で、次いで「ホームセンター・市民農園のスタッフ」と「インターネット（ニュースサイト）」がともに2割半ばであった（図表62）。

植物を採取するにあたって参考になっている情報源については、「図鑑等（電子版を含む）」が4割で、次いで「インターネット（行政HP）」が3割であった（図表64）。

あなたご自身に関するアンケート

① 推奨環境について

アンケートにお答えいただくには下記の環境が必要です。

OS / ブラウザ

- | | |
|---|---------------------------------|
| ・ Microsoft Windows 8.1 / 10
Microsoft Edge
Firefox
Chrome | ・ iOS 13 / 14 / 15
Safari |
| | ・ Android 9 / 10 / 11
Chrome |

その他の設定、プラグインについて

- ・ JavaScriptを有効にしてください。
- ・ Cookieを有効（受け入れる）にしてください。

① アンケート内で知り得た情報について

当アンケートには機密情報が含まれます。当アンケートの内容や知り得た情報は第三者に口外・開示しないようお願いいたします。

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。
(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

アンケートに参加する

SC1

あなたの性別をお知らせください。

- 1 男性
- 2 女性
- 3 回答しない

SC2

あなたの年齢をお知らせください。

歳

SC3

あなたのお住まい(都道府県)をお知らせください。

▼

次へ

0 50 100(%)

SC4

過去10年以内に自分又は同居家族が家庭菜園や市民農園等で植物を育てて食べた経験はありますか。

- 1 ある
- 2 ない

次へ

自分又は同居家族が育てて食べた植物についてお答えください。

Q1

家庭菜園や市民農園等で植物を育てている(育てた)方はどなたですか。(いくつでも)

- 1 自分
- 2 同居家族

次へ

0 50 100(%)

自分又は同居家族が育てて食べた植物についてお答えください。

Q2

あなたや同居家族の栽培歴はどのくらいですか。

なお、栽培を中断していた期間がある場合は、その期間を除外してお答えください。

※自分と同居家族が育てている場合、御自身についてお答えください

- 1 10年以上
- 2 4～9年
- 3 3年以下

前のページに戻る

次へ

0 50 100(%)

自分又は同居家族が育てて食べた植物についてお答えください。

Q3

その植物の入手先について、当てはまるものをお答えください。(いくつでも)

※自分と同居家族が育てている場合、御自身についてお答えください

- 1 実店舗(園芸店等)で、食用の植物であることを確認して購入した
- 2 実店舗(園芸店等)で、食用の植物であることを特に確認せず購入した
- 3 インターネットで、食用の植物であることを確認して購入した
- 4 インターネットで、食用の植物であることを特に確認せず購入した
- 5 野山から持ち帰った
- 6 親せきや友人・知人から、種や苗をもらった
- 7 分からない・覚えていない
- 8 その他

前のページに戻る

次へ

0 50 100(%)

自分又は同居家族が育てて食べた植物についてお答えください。

Q4

その植物を植えた場所はどこですか。(いくつでも)

- 1 庭(直植え)
- 2 庭・ベランダ(鉢・プランター)
- 3 自宅の庭以外の家庭菜園(市民農園等)
- 4 自宅屋内(台所など)
- 5 分からない・覚えていない
- 6 その他

前のページに戻る

次へ

0 50 100(%)

自分又は同居家族が育てて食べた植物についてお答えください。

Q5

庭や家庭菜園などで植物を育てている(育てていた)状況について、当てはまるものをお答えください。

- 1 植える場所を決めて、定期的に雑草などを取り除くなどの手入れをした
- 2 植える場所を決めているが、手入れはあまりしていない
- 3 植える場所は特に決めていないが、定期的に雑草を取り除くなどの手入れをした
- 4 植える場所は特に決めていないし、手入れもあまりしていない
- 5 自分で植えていないのでわからない
- 6 その他

前のページに戻る

次へ

0 50 100(%)

自分又は同居家族が育てて食べた植物についてお答えください。

Q6

その植物を植えた場所をどのように分けています(分けていました)か。(いくつでも)
※自分と同居家族が育てている場合、御自身についてお答えください

- 1 柵などで区画する
- 2 鉢・プランターを分ける
- 3 特に区画はしないがネームプレートをつけて区別している
- 4 特に区画はしていないが、植える場所を分ける
- 5 その他

前のページに戻る

次へ

0 50 100(%)

Q7

育てている(育てた)植物について、食用の植物と観賞用の植物の区分けに関して、当てはまるものをお答えください。

※自分と同居家族が育てている場合、御自身についてお答えください

- 1 食用の植物と観賞用の植物を植える場所を明確に分けている
(例:鉢やプランターを分ける等)
- 2 食用の植物と観賞用の植物を植える場所をある程度分けている
(例:ネームプレートをつける等)
- 3 食用の植物と観賞用の植物の植える場所を分けていない
(食用の植物と観賞用の植物の見分けがつかず)
- 4 食用の植物と観賞用の植物の植える場所を分けていない
(食用の植物と観賞用の植物の見分けが難しい)
- 5 自分で植えていないのでわからない
- 6 観賞用植物を植えていない

前のページに戻る

次へ

0 50 100(%)

Q8

家庭菜園や庭などで栽培した植物について、その植物が食用かどうか判断に自信がない場合の対応方法について当てはまるものをお答えください。(いくつでも)

※自分と同居家族が育てている場合、御自身についてお答えください

- 1 食用の植物かどうか、図鑑等(電子版を含む)で確認して食べる
- 2 食用の植物かどうか、アプリやインターネットで確認して食べる
- 3 食用の植物かどうか、知識のある人に見せて確認して食べる
- 4 食用の植物かどうか、においをかいで確認して食べる
- 5 食用の植物かどうか、口に入れて確認して食べる
- 6 食用の植物を植えたはずなので、確認しないで食べる
- 7 見た目判断して食べる
- 8 食べない
- 9 わからない
- 10 その他

前のページに戻る

次へ

0 50 100(%)

Q9

園芸店で観賞用として販売されている植物の中には、食べると食中毒を起こす植物があります。観賞用の植物による食中毒の症状についてあなたが知っていることをお答えください。(いくつでも)

- 1 植物によっては、死亡や重い症状になる場合がある
- 2 植物によっては、嘔吐などの症状がでる場合がある
- 3 食中毒を起こす植物が販売されていることを知らなかった
- 4 食中毒を起こす植物があることを知らなかった

前のページに戻る

次へ

0 50 100(%)

Q10

園芸店で販売されている観賞用植物で、食べると食中毒を起こす植物について、あなたが知っていることをお答えください。

- 1 食中毒を起こす植物について、名前も見た目も知っているものがある
- 2 食中毒を起こす植物について、名前のみ知っているものがある
- 3 食中毒を起こす植物について、見た目のみ知っているものがある
- 4 食中毒を起こす植物の名前も見た目も知らない

前のページに戻る

次へ

0 50 100(%)



Q11

食べると食中毒を起こす植物について、あなたが知っている植物をお答えください。
(いくつでも)

※例示されている植物以外で、食べると食中毒を起こす園芸植物について御存知のものがあれば、「その他」をチェックし、具体的に記載してください。



1 スイセン(ニラと誤認)



2 イヌサフラン(ギョウジャニンニクやギボウシと誤認)



3 チョウセンアサガオ(ゴボウ、オクラ、ゴマと誤認)



4 クワズイモ(サトイモと誤認)



5 グロリオサ(ヤマイモと誤認) 6 その他

前のページに戻る

次へ

0 50 100(%)

Q12

あなたは、食用として栽培した植物をどのように活用していますか。(いくつでも)

- 1 自分(家族)で食べる
- 2 親せきや友人・知人に配る
- 3 その他

前のページに戻る

次へ

0 50 100(%)

Q13

あなたは、食用として栽培した植物を配るときに、その植物が食べられるかどうか図鑑(電子版を含む)やインターネット等で確認しますか。(いくつでも)

- 1 確認する
- 2 見た目で食用の植物だとわかるので確認しない
- 3 食用の植物を植えた場所から収穫したので確認しない
- 4 食用の植物しか植えていないので確認しない
- 5 自分が食べたあとに配るので確認しない
- 6 その他

前のページに戻る

次へ

0 50 100(%)

Q14

あなたは、過去10年間に、野山や林などの野外で採取した(された)植物を食べたことがありますか。

(キノコ・タケノコを除く)

- 1 ある
- 2 ない

前のページに戻る

次へ



Q15

あなたが野山などに自然に生えている植物を食べた経験についてお答えください。

(いくつでも)

(キノコ・タケノコを除く)

- 1 ほぼ毎シーズン自分で採取して食べる
- 2 たまに自分で採取して食べる
- 3 家族や友人・知人からもらって食べる
- 4 道の駅等で地元の人が採取したものを購入して食べる
- 5 その他

前のページに戻る

次へ



Q16

野山などに自然に生えている植物の採取又は調理について、あなたに当てはまるものをお答えください。(いくつでも)

(キノコ・タケノコを除く)

- 1 食用の植物と有毒な植物とを見分けることができる
- 2 採取する際には、一つ一つ図鑑等(電子版含む)と見比べて確認する
- 3 採取する際には、一つ一つ、アプリやインターネットで確認する
- 4 採取時等に、専門家にアドバイスを求める
- 5 調理する際に、有毒な植物が混ざっていないか図鑑等(電子版含む)と見比べて確認する
- 6 調理する際に、有毒な植物が混ざっていないかアプリやインターネットで確認する
- 7 万が一食中毒が起きたときの手がかりとするため、植物の一部を取り置く
- 8 その他

前のページに戻る

次へ



Q17

あなたは、有毒植物による食中毒が毎年全国各地で発生していることを知っていますか。

- 1 知っている
- 2 知らない

前のページに戻る

次へ



Q18

令和4年、有毒植物による食中毒で死者が出た事件がありました。

あなたはこれらの食中毒事件について知っていましたか。 (いくつでも)

- 1 令和4年4月、宮崎県で発生した事件を知っている(原因植物:グロリオサ)
- 2 令和4年4月、秋田市で発生した事件を知っている(原因植物:イヌサフラン)
- 3 令和4年9月、旭川市で発生した事件を知っている(原因植物:イヌサフラン)
- 4 どれも知らなかった

前のページに戻る

次へ

0 50 100(%)

Q19

あなたがその食中毒事件を知っていた理由をお答えください。 (いくつでも)

- 1 原因となった植物を知っていたから
- 2 原因となった植物を過去に育てたことがあったから
- 3 原因となった植物を現在育てているから
- 4 食中毒事件で死亡者が出たから
- 5 この事件が起こるまで、原因となった植物で食中毒が起こると知らなかったから
- 6 ニュース(インターネットを含む)を見たから
- 7 家族や友人、知人の間で話題になったから
- 8 その他

前のページに戻る

次へ

0 50 100(%)

Q20

有毒植物について、あなたが正しいと思う選択肢をすべて選んでください。

(いくつでも)

(キノコ・タケノコを除く)

- 1 観賞用として育てたスイセンをニラと間違えたことによる食中毒が多く発生している
- 2 イヌサフランの芽生えにはおいがないが、よく似ているギョウジャニンニクの芽生えには特有のニンニク臭がある
- 3 「○○ゴボウ」「○○ジャスミン」など、食べられる植物の名前がついていても、有毒なものがある
- 4 有毒植物による食中毒は夏に一番多く発生する
- 5 有毒植物と食べられる植物は同じ時期に同じ場所で生育することがある
- 6 正しいと思うものは無い

前のページに戻る

次へ



Q21

あなたが普段利用しているメディア・サービスを教えてください。(いくつでも)

- 1 テレビ
- 2 新聞
- 3 雑誌・書籍
- 4 インターネット(行政HP)
- 5 インターネット(企業団体等公式HP)
- 6 インターネット(ニュースサイト)
- 7 インターネット(SNS/口コミ関係)
- 8 動画サイト(YouTubeなど)
- 9 その他

前のページに戻る

次へ



Q22

普段利用している具体的なSNSサービスを教えてください。(いくつでも)

- 1 Facebook
- 2 Twitter
- 3 LINE
- 4 Instagram
- 5 その他

前のページに戻る

次へ

0 50 100(%)

Q23

あなたが情報発信に効果的だと思うメディア・サービスを教えてください。
(いくつでも)

- 1 テレビ
- 2 新聞
- 3 雑誌・書籍
- 4 インターネット(行政HP)
- 5 インターネット(企業団体等公式HP)
- 6 インターネット(ニュースサイト)
- 7 インターネット(SNS/口コミ関係)
- 8 動画サイト(YouTubeなど)
- 9 その他

前のページに戻る

次へ

0 50 100(%)

Q24

情報発信に効果的だと思う具体的なSNSサービスを教えてください。(いくつでも)

- 1 Facebook
- 2 Twitter
- 3 LINE
- 4 Instagram
- 5 その他

前のページに戻る

次へ

0 50 100(%)

Q25

あなたが信頼できると思うメディア・サービスを教えてください。(いくつでも)

- 1 テレビ
- 2 新聞
- 3 雑誌・書籍
- 4 インターネット(行政HP)
- 5 インターネット(企業団体等公式HP)
- 6 インターネット(ニュースサイト)
- 7 インターネット(SNS/口コミ関係)
- 8 動画サイト(YouTubeなど)
- 9 その他

前のページに戻る

次へ

0 50 100(%)

Q26

信頼できると思う具体的なSNSサービスを教えてください。(いくつでも)

- 1 Facebook
- 2 Twitter
- 3 LINE
- 4 Instagram
- 5 その他

前のページに戻る

次へ

0 50 100(%)

Q27

あなたは食品の安全性に関する情報について、どこから得ることが多いですか。

(いくつでも)

- 1 テレビ
- 2 新聞
- 3 雑誌・書籍
- 4 行政発行の印刷物(リーフレットやポスターなど)
- 5 インターネット(行政HP)
- 6 インターネット(企業団体等公式HP)
- 7 インターネット(ニュースサイト)
- 8 インターネット(SNS/口コミ関係)
- 9 動画サイト(YouTubeなど)
- 10 家族や友人・知人
- 11 その他
- 12 特になし

前のページに戻る

次へ

0 50 100(%)

Q28

食品の安全性に関する情報源として活用している具体的なSNSサービスを教えてください。(いくつでも)

- 1 Facebook
- 2 Twitter
- 3 LINE
- 4 Instagram
- 5 その他

前のページに戻る

次へ



Q29

東京都からの食品の安全性に関する情報について、あなたが見たことがあるのはどれですか。(いくつでも)

- 1 公式ホームページ
- 2 公式Twitter
- 3 東京動画
- 4 広報東京都
- 5 月刊福祉保健
- 6 ポスター
- 7 リーフレット
- 8 その他
- 9 見たことはない

前のページに戻る

次へ



Q30

あなたが植物を育てるにあたって参考にしている情報源をお答えください。

(いくつでも)

- 1 図鑑等(電子版を含む)
- 2 アプリ
- 3 インターネット(行政HP)
- 4 インターネット(企業団体等公式HP)
- 5 インターネット(ニュースサイト)
- 6 インターネット(SNS/口コミ関係)
- 7 動画サイト(YouTubeなど)
- 8 ホームセンター・市民農園のスタッフ
- 9 家族や友人・知人
- 10 その他
- 11 参考にしている情報源はない

前のページに戻る

次へ

0 50 100(%)

Q31

あなたが野山で植物を採取するにあたって参考になっている情報源をお答えください。

(いくつでも)

(キノコ・タケノコを除く)

- 1 図鑑等(電子版を含む)
- 2 アプリ
- 3 インターネット(行政HP)
- 4 インターネット(企業団体等公式HP)
- 5 インターネット(ニュースサイト)
- 6 インターネット(SNS/口コミ関係)
- 7 動画サイト(YouTubeなど)
- 8 家族や友人・知人
- 9 その他
- 10 参考になっている情報源はない

前のページに戻る

送信

0 50 100(%)

※この画面は画面確認時のみ表示されます

本パートの回答が完了しました。

※この画面は画面確認時のみ表示されます。実査中は表示されません。
※回答をやり直す場合は、前のページへ戻ってご回答いただくか、
お送りしているURLから再度アクセスしてください。

前のページに戻る

次へ

あなたご自身に関するアンケート

アンケートはこれで終了です。
ご協力いただきましてありがとうございました。

令和5年3月発行

登録番号(4)28

園芸植物等の栽培に関する実態調査及び食中毒に関する意識調査報告書

編集・発行 東京都健康安全研究センター
企画調整部 健康危機管理情報課 食品医薬品情報担当
〒169-0073
東京都新宿区百人町 3-24-1
電話 03 (3363) 3472

調査委託 株式会社エントリーサポート
〒151-0072
東京都渋谷区幡ヶ谷 2-14-9
電話 03 (5302) 6970

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。